

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

あなたのいちばんに。
FFG 福岡フィナンシャルグループ

9

2024
VOL.165

Top Interview

有明技研 株式会社 代表取締役社長 大曲 和彦 氏 ・ 取締役副社長 大曲 孝彦 氏

株式会社 九建総合開発 代表取締役 新永 隆一 氏

幸運ホールディングス 株式会社 代表取締役社長 馬場 邦彦 氏 ・ 代表取締役副社長 藤野 芳弘 氏

福岡銀行



福岡銀行



今月の表紙

福岡銀行 柳川支店

今月の表紙になった支店をご紹介します!



向井 朱里 (むかい しゅり)
2023年入行(柳川支店2年目)
FC・ローン業務
■趣味:ドライブ
■休日の過ごし方:テレビで海外サッカー観戦、サウナ



江嶋 菜希 (えしま なつき)
2024年入行(柳川支店1年目)
店頭業務
■趣味:映画・韓国ドラマ鑑賞
■休日の過ごし方:友人とカフェ

私たちが
お答えします!

Q 柳川支店の特徴は?

江嶋 2023年12月に西鉄柳川駅から徒歩2分の場所に移転した、利便性が高く、新しくきれいな店舗です。行員スタッフの仲が良く、みんなに相談しやすい和気あいあいとした職場環境が魅力です。

向井 新店舗になり、今まで以上にお客さまに安心してご相談いただける環境づくりを心掛けています。また、地域の皆さまのために少しでもお役に立てるよう、行員スタッフ全員が向上心を持って勤めています。



Q 柳川はどんなところ?

江嶋 柳川は美しい風景や歴史的な建築物が豊富なエリアと感じます。特に川下りは有名で、川沿いのレトロな街並みを鑑賞しながら楽しむことができます。

Q 柳川のおすすめスポットは?

向井 「田脇日吉神社」です。以前、お客さまにおすすめされて行きまして。雰囲気がよく、売店で購入したお守りを財布に入れていきます。

ライトアップされた川下りもおすすめです。旧支店から帰宅しているときにライトアップを初めて見て、幻想的な雰囲気で良かったです。「白秋祭」の時には、色んなライトアップを見ることができたので、今年も楽しみます。



田脇日吉神社(住所:福岡県柳川市田脇948)



Q 柳川の名物は?

向井 うなぎとさげもんです。柳川のうなぎは格別だと感動しました。さげもんは柳川に来て初めて知りました。お客さまのご自宅に訪問すると、ほとんどの家庭で飾っており、とても歴史があるなと感じました。



Q 今日のお昼ご飯は?

江嶋 母が毎朝準備してくれる弁当です。





前列左2人目上村副支店長、左4人目から安恒支店長、本多副支店長

Q 支店での地域貢献活動を教えてください。

江嶋 毎年開催されている「白秋祭」に行員数名が裏方としてサポートしていると聞きました。「白秋祭」が楽しみです。

向井 「柳川市おもてなし健康マラソン」と「白秋祭」です。マラソンでは、体力の衰えもあり前回はそこまで順位がよくありませんでした。小中学生に負けていられないと思いました。「白秋祭」は、お手伝いで参加させていただきました。皆さん楽しそうにされていたので、いつかは船に乗って楽しみたいと思っています。



白秋祭での一コマ

読者にメッセージをお願いします。

江嶋 柳川支店はアットホームな雰囲気があり、「あなたのいちばんに。」を第一に日々業務に取り組んでいます。何かお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。皆さまからのご相談を、行員一同心よりお待ちしております!!

向井 これからも柳川という素敵な街を支えていけるように日々頑張つて参ります。もし何かありましたら、福岡銀行柳川支店の向井までお尋ねください。明るく笑顔で対応させていただきます!



福岡銀行 柳川支店

住所：福岡県柳川市三橋町下百町209-1

地底からの 残暑見舞い

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene



▲秋芳洞正面入口



▲上.百枚皿／下.展望台からの眺め



▲黄金柱

●秋芳洞

住所：
山口県美祢市
秋芳町秋吉



地上に出れば、一面に広がるカルスト台地特有の
白い石灰岩と涼風になびく草原が清々しい。
すがすがしい。

(文・阿井川 圭)

石灰岩の台地に降った雨が地底に鍾乳洞をつくる。日本最大級のカルスト台地「秋吉台」にはたくさん
さんの鍾乳洞があるが、「秋芳洞」はその中でも最大の規模を誇る。
大地に降った雨水が石灰岩を溶かし、洞入口の裂け目から川となつて流れ出す。その奥には想像を超えた巨大な空間が広がっていて、ジュール・ヴェルヌの冒険小説「地底旅行」を彷彿とさせる。子ども頃の心踊った記憶が、闇の中の神秘的な鍾乳石や地底湖から蘇ってくる。



今月の表紙 **NEW!**

福岡銀行 柳川支店

- 2 懐かしい情景を探して
地底からの残暑見舞い

Top Interview

- 4 **福岡銀行**
有明技研 株式会社
代表取締役社長 大曲 和彦 氏 ・ 取締役副社長 大曲 孝彦 氏
- 10 **熊本銀行**
株式会社 九建総合開発 代表取締役 新永 隆一 氏
- 16 **十八親和銀行**
幸運ホールディングス 株式会社
代表取締役社長 馬場 邦彦 氏 ・ 代表取締役副社長 藤野 芳弘 氏
- 22 **九州企業のサステナビリティ**
グリーンコープ生活協同組合みやざき 代表理事 理事長 川口 香代子 氏
谷川建設グループ
株式会社 谷川建設/株式会社 マルキ開発 代表取締役 谷川 喜一 氏
- 30 **地域とつながるFFG連携プロジェクト**
福岡県のアツギ・サッシンベンチャー伴走支援プログラムスタート!
~テイクオフParty開催~
- 32 **われら社会貢献企業**
大東商事 株式会社
- 36 **支店長が聞く NEW!**
株式会社 クロスポイント 代表取締役 斉藤 智樹 氏
乗馬倶楽部 KOKURA マネージャー 斉藤 磨希 氏
- 46 **海外駐在員事務所が伝えるグローバルの今**
バンコク
- 48 **FFG Victory Road**
福岡中央銀行 バトントワラー 三船 梨紗
- 54 **FFG Victory Road NEWS**
「第13回ふくおかフィナンシャルグループラグビーフェスタ」を開催しました!
- 56 **プロジェクト参加のすゝめ**
子どもたちの笑顔が見たい!
「福岡県子ども食堂応援プロジェクト2024」の実施
- 58 **地銀9行連携レポート 京都銀行**
持続可能な社会の実現に向けた取り組み
~京都企業との「中小企業のためのサステナビリティ経営実践セミナー」の開催~
- 62 **お城巡り NEW!**
九州・沖縄編
- 63 **長崎だより**
グラバー園の過去・現在・未来

読者アンケートのお願い

今後のより良い誌面作りの参考とさせていただくため、アンケートのご協力をお願い致します。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pdqc-mardsj-9e6cf24709de56ecfd34a43a19d5de47>



バックナンバーの
お知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。





福岡銀行

金属加工と樹脂加工の精密技術で
半導体製造装置分野を中心に
幅広く貢献するものづくり集団。

ありあけぎけん
有明技研株式会社

代表取締役社長

おおまがりかずひこ
大曲和彦氏

取締役副社長

おおまがりたかひこ
大曲孝彦氏

取引店／福岡銀行柳川支店

■会社概要

創業:1947年／設立:1990年／所在地:福岡県柳川市／資本金:1,000万円／従業員:180名／事業内容:精密切削加工、精密板金加工、製缶加工、樹脂精密切削・曲げ・溶接加工／事業所:本社工場(福岡県柳川市)、熊本工場(熊本県菊池郡大津町)、大牟田工場(福岡県大牟田市)

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社工場前(左から大曲孝彦副社長、大曲和彦社長、五島頭取)

父の始めた鉄工所を 29歳で受け継ぐ

当社の原点は、私(和彦社長)の父、大曲近司よしかしが始めた鉄工所です。戦時中に海軍の工場で溶接工として軍艦の修理などに携わった経験をもとに、戦後まもなく鉄工所を興して農機具などの修理・製造を手がけていたようです。そこから炭鉱関係の仕事なども受注するようになり、1973年に私も父の仕事を手伝い始めました。

当時は小さな町工場で従業員も数名程度。1984年、私が29歳の時に父が亡くなり、それを機に「自分の思うようにやっこいこう」と決意しました。当時の従業員は定年を迎えても会社を支えてくださっていた人ばかりでしたから、父がいなくなつたタイミングで全員が会社を去つた結果、独力での再出発でした。

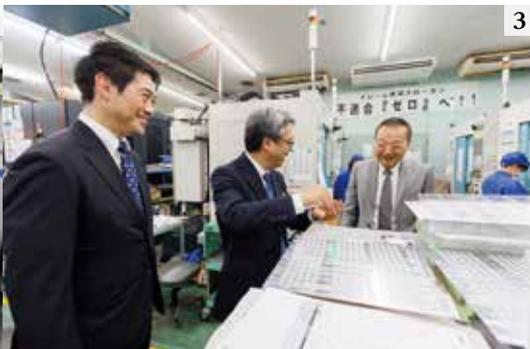
まだ父が亡くなる前に、久留米の鉄工所を視察した私は高価なマシンングセンタ(多様な金属加工ができる工作機械)の必要性を感じ、父に導入を訴えていましたので、年商2,000万円の時代に4,000万もする機械が父の置き土産となりました。そのマシンングセンタ導入のおかげで舞い込む注文が増し、精密加工分野に大きく舵を切るようになりました。

将来性を見越して 半導体製造装置分野へ参入

1986年には、半導体製造装置分野の国内最大手である「東京エレクトロン株式会社」のグループ企業、「東京エレクトロン九州株式会社」との取引が始まり、これも当社にとっては大きな節目となりました。

当時、樹脂加工のできる会社を東京エレクトロン九州が探していた関係でうちに話が来たわけですが、それまでの取引先より短納期であることに最初は驚かされました。しかし、半導体業界に将来性を感じていたので、何としても受けねば、という思いがあり、取引開始に踏み切りました。その結果、私は工場で加工作業に追われて毎日息つく暇もなく、先方への納品を妻に託すほどでした。

当社は、現在では機械加工、板金、製缶、樹脂加工を手がけて、材質、加工方法ともに幅広く対応しているのが特色です。また、24時間体制で短納期にも対応できる操業体制を構築しています。こうした強みは、さまざまなニーズに柔軟に対応しながら実績を積んでいった当時の経験が土台となつてでき上がったものです。





大曲孝彦副社長



大曲和彦社長

業績を伸ばしていた矢先の 半導体不況で倒産の危機

1990年に現社名に組織変更し、本社旧工場を新工場に移転しました。1990年代には、本社工場および熊本工場を次々に設けて、精密板金加工を開始、板金加工の拡大、金型などの強化といった具合に、各部門を充実させていきました。

現在では、本社工場は金属加工部門、熊本工場は板金加工部門・機械加工部門・製缶加工部門、さらに2017年に設けた大牟田工場は樹脂専用加工部門・組立部門とし、各担当業務を分けて事業の効率化と作業精度の向上を図っています。

会社設立後は順調に業績を伸ばし組織を拡大していた当社でしたが、1998年に起きた半導体不況によって売上が激しく落ち込み、一気に倒産の危機に陥りました。当社にとって最大の試練。絶体絶命の状態だった当社が何とか息を吹き返すことができたのは、ひと言でいえば、人の縁に支えられた結果です。

当社の危機を聞きつけた東京エレクトロン九州の当時の資材部長の計らいで、この状況を危惧された社長自ら、わざわざ当社まで足を運び、励ましの言葉をかけてくださいました。その上、新たな仕事を回してくださったのです。なす術が見つからず半ばあきらめかけていた私に「あなたなら、まだできるよ」と、元気づけてくれた言葉は忘れることができません。

また、経営者の集まりで知り合った地元企業の社長は、金融機関に助言する形で資金繰りを助けてくださいました。ご縁のある人たちが力を合わせて支えてくれたからこそ、「このままで終われない」という気持ちになり、事業を立て直すことができました。



11 9



7



10



8

1.対談風景／2.3.本社工場内を見学／4.加工部品を片手に説明を聞く五島頭取／5.様々な加工部品の説明を聞きながら談笑／6.工場の生産管理室／7.仕上げ工程の作業風景を見学／8.多くの大型マシニングセンタが稼働している／9.熊本工場／10.大牟田工場／11.企業メッセージ



最前列左4番目から大曲孝彦副社長、大曲和彦社長、五島頭取、安恒支店長(福岡銀行)

人を育て人の力を引き出す

試練という意味では、2016年の熊本地震の時も思い出されます。あの震災で熊本工場が甚大な被害を受けました。私もすぐに現場に向かい、あまりの惨状に言葉を失いました。想像を超える苛酷な状況突きつけられた局面で、人は「笑うしかない」と口にしますが、身をもってそんな気持ちを経験した出来事でした。

しかし、工場に設置していた装置のメーカーからも応援部隊が駆けつけてくれたおかげで、熊本工場の従業員たちが一丸となって復旧に当たり、2週間で生産能力が8割程度まで戻り、ひと月後には完全復旧を果たせました。この時ほど「人の力のすごさを実感したことはありません。

当社は、「従業員の物心両面の幸福」を経営理念のひとつに掲げており、「人を大切にする会社経営」を通じて、多くの人に感謝される会社を目指しています。そして、「人を育てる」目的で従業員教育に注力しています。全社を挙げて挨拶の徹底に取り組み、先輩後輩の関係なく円滑なコミュニケーションを図る風土の醸成に尽力するとともに、技術向上のための勉強会はもとより、幹部研修、リーダー研修などで各自のマネジメント能力を高め、人間力を養う教育にも力を入れております。

また、地域の子どもの夢や力を育む取り組みも、地域に根ざす企業の使命と考え、自分たちができることに力を尽くすよう心がけています。具体的には、工場見学を通じて、ものづくりのおもしろさを知ってもらう取り組みもそのひとつ。ものをつくる魅力を体感した子どもたちのなかから、当社の将来を担う人材が出てきてくれたら、この上なく喜ばしいことです。

それから、毎年1月には「交通安全コンクール」を開催しています。これは地域の子どもたちが創作した絵や標語を集めて表彰するイベントで、それぞれの成長を促す取り組みとして続けています。

私は「知足許為」という自作の言葉を座右の銘としていますが、「足るを知って欲張らず、自分と他人を許し、人のため、社会のために行動する」という意味を込めています。

100億円企業へ、 そして100年企業へ

お客さまからのあらゆるご要望に 대응するために取り組んできた、機械加工と板金加工を中心とした「設備の充実」。情報、技術、想像力、感性を結びつけた製品づくりによってもたらされる「徹底した品質の追求」。社員各自の能力と

努力を結集させた新たな技術の提案が示す「提案力の高さ」。これらが当社の強みとなつて、半導体製造装置分野のほかに医療用機器や食品用機器の部品も手がけていますが、今後の当社の成長を見据えた時、現在の仕組みや設備では半導体業界の進化や社会の変化に追いつかなくなっていく状況が予想されます。

たとえば、既存の設計データを応用して新たな設計データを生み出すような生成AIを活用したシステムなど、設備の増強やDXの推進に注力しているところです。そして、この取り組みは、今後ますます深刻になっていくであろう「働き手不足」の問題にも対応する力になるものと考えています。

これまでも設備の拡充では、福岡銀行を始めとする金融機関のビジネスパートナーに幾度となく支えていただきましたが、今後も資金面、情報面の双方においてお力添えをいただければと考えております。

当社は、一昨年の2022年に創業75周年を迎えました。当面の目標としては、5年後をめどに売上高100億円企業となるよう邁進していきます。さらに、アジア方面からの引き合いも来ている現状をもとに10年後には、海外のお客さまにも喜ばれるようなグローバル展開を目指します。

インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 五島 久



今や業界屈指の金属・樹脂加工企業としてその地位を確立された当社も、そのスタートは、創業者であるお父上から引き継いだ小さな町の鉄工所でした。半導体製造装置分野に将来性を見出した大曲社長は、その後半導体不況に見舞われながらも、不屈の闘志で当社をここまで育て上げられました。

そして当社創業75周年となる2022年、不断の努力が認められ、国内最大手の半導体製造装置メーカーよりビジネスパートナー約1,000社の中から「顕著な貢献があった事業者」として選出され、表彰を受けられました。「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、今後当社が果たす役割は益々大きくなるものと期待しています。



熊本銀行

西日本屈指の基礎工事実績を誇り
バイオディーゼル燃料発電で
被災地支援にも大きく貢献。

株式会社 九建総合開発

代表取締役
新永隆一氏

取引店／熊本銀行 植木支店

■会社概要

設立:1980年／所在地:熊本市北区／資本金:
3,000万円／従業員:41名(2023年8月現在)／
事業内容:杭工事(場所打ち杭施工および既製杭
施工)、埋設型地下倉庫、アスファルト再生機/
関連会社:株式会社九建、株式会社九建運送、
株式会社未来樹、株式会社ナチュラル

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から新永社長、坂本頭取)

豊富な実績を有する 杭打ち工事のスペシャリスト

1980年創立の当社は、建築土木分野で基礎工事に用いる杭のメーカーから独立した私の父が杭打ち工事を請け負う会社を設立したのが始まりです。当初は「九州機工株式会社」という社名でしたが、1991年に現在の社名に商号を変更しました。

創業以来、熊本県を中心に西日本全域で、杭打ち工事のスペシャリストとして2,000件を超える現場実績を積み重ねてきました。長年にわたり培ってきた豊富な経験から、独自の詳細な施工データと地質データを駆使した質の高い仕事で、西日本有数の基礎工事業者として多くのお客様からの信頼をいただいております。

とくに熊本一帯は、関東のようにローム層が大きく広がっている地域などと異なり、火山のある地形のため地下の状態が複雑で、ほんの5メートルの距離でも地質がまるで変わる特殊事情があります。そのため、当社の有する膨大な地質データと、それぞれの地質に見合った施工技術は、何よりも強みとなります。

また、基礎工事における杭打ちの方法は、大きく分けて二種類あります。杭打ち機を

使って、コンクリート製あるいは鋼管の杭を埋設していく「既製杭」と、現場で掘削した穴の中に鉄筋かごを入れ、そこへコンクリートを流し込んでその場で杭を造る「場所打ち杭」です。既製杭にくらべて、その場でより大きな杭を造れる「場所打ち杭」は、新幹線の高架橋、大きな橋の橋脚、高層建築物などおもに用いられます。

そして、「既製杭」と「場所打ち杭」の両方をおこなえる基礎工事業者は、全国的に見ても多くありません。いずれにも対応できる技術者と重機を自社で抱えるのが大変だからです。土木建築現場のあらゆるニーズに対応できる体制もまた、当社の大きな特長といえます。

若手に手厚い待遇と 働きやすい環境で組織を活性化

さまざまなニーズに対応していくために、当社では常に、最新技術と機材の導入をおこなって、技能研修にも力を入れ、若い人材の積極採用と働きやすい環境の整備に取り組んでいます。その結果、人材の高齢化が進む土木建築業界にあって、当社の従業員の平均年齢は、業界平均より若い38歳程度となっています。



5



3



1



6



4



2



新永社長

当社では、若手どうしてチームを組ませて、若い人が現場でどんな経験を積めるようにするとともに、資格手当や能力給などで各自の成長意欲を後押しする制度を充実させています。仕事に必要な資格はすべて会社負担で取得できますし、最新鋭の重機や工法を経験できる機会の豊富さも若手にとっては魅力となっています。

当業界のみならず、あらゆる産業において若手人材が育たないと業界の未来は閉ざされてしまうでしょう。「若い人が来てくれない」と嘆いているだけでは状況は変わりません。「なぜ若い人にとって魅力がないのか」を考え、環境や待遇を一歩ずつでも改善していく必要があるのではないのでしょうか。

バイオディーゼル燃料に切り替えて地球環境に配慮する取り組みを開始

社業で実績を積み地域に貢献するのは、企業としての使命ですが、さらに企業の社会的責任を追求していくのもまた、大事なことだと考えます。

当社では環境負荷低減のために、現場で使用する重機の90%以上で「高純度バイオディーゼル燃料(以下、BDF)」を使用しています。BDFとは、菜種油、大豆油、コーン油といった植物由来の廃食用油などを原料として作られる燃料。CO₂排出は実質ゼロカウントとなり、軽油の代替燃料として使用できます。当社で使用しているBDFは、熊本県内の商業施設、学校、企業、一般家庭から出た使用済みの天ぷら油などを精製したもので、いわば「地産地消」のエネルギーです。

基礎工事現場は、一日あたり300〜400リットルもの燃料を必要とすることから、私たちが果たすべき責任としてBDFを取り入れ始めたわけですが、2024年2月の当社におけるBDF使用量を調べたところ、7,498リットルでした。CO₂削減量に換算すると約4.6トンになります。

地域と社会、そして未来にも貢献できるエネルギー



10 8



7



9

1. 対談風景
2. BDF製造工場を見学
3. BDF製造過程の説明
4. 不純物を99.9%取り除くBDFの製造機械
5. 燃料は純度によってタンクで保管される
6. 使用済み天ぷら油を持ち込めば500mlにつき5分間EVの充電ができる
7. 2024年6月に納車されたクローラークレーンの前で記念撮影
8. 埋設型地下倉庫を見学
9. 災害対策や様々な用途で利用できる埋設型地下倉庫
10. 企業メッセージ



前列左3番目から村上市長(株式会社未来樹)、新永社長、坂本頭取、田中支店長(熊本銀行)

ギーを積極的に取り入れることで、望ましい環境づくりに継続的に貢献していけたらと思います。

地域防災力強化に向けた 連携協定を熊本銀行と締結

更に、環境への取り組みに関しては、当社のグループ企業である「株式会社未来樹^{みらいじゅ}」が中心となつて、BDFを燃料とする「移動式急速EV充電機(以下、BMEベネフィット)」を自社開発しました。BMEベネフィットは100%BDFで発電し、電気自動車への充電がおこなえる装置です。電気自動車は走行時にCO₂を排出しないため、システムとして発電から走行まで環境にやさしいサイクルを実現できます。

また、災害発生時にはトラックに載せて被災地に運搬し、電気自動車への充電のほか、通信機器や家電の非常用電源として活用できます。2016年の熊本地震では、BDFを燃料として無償提供する形で被災地支援をさせていただきましたが、この地震をきっかけとして、熊本銀行と「BMEベネフィットを活用した災害時連携に関する協定」を結びました。この協定により、災害が発生した場合、熊本銀行の本支店駐車場にBMEベネフィットを無償で貸与・設置

することになっています。BMEベネフィットを近隣住民が非常用電源として使用できるほか、住民や事業者が所有する電気自動車を充電し、所有者が自宅等で電気自動車を使用できる体制が整います。

そして、平常時には防災訓練日を設けて定期訓練をおこなうことも協定に盛り込まれています。災害時のBMEベネフィット活用と環境・防災意識の向上も、地域が一体となって目指せたいと考えています。

被災地支援においては、本年1月の能登半島地震の際も、BMEベネフィットを熊本から搬送して、被災状況が深刻であった石川県珠洲市に設置しました。電気自動車があれば、「動く蓄電池」として電気が通っていない避難場所にも電気を供給できますから、BMEベネフィットの特性を活かして、燃料を定期的に補給しながら、5月中旬まで約4か月間被災地で支援活動をおこないました。

豊富な実績と技術を活かした 新事業で海外展開にも注力

新製品の開発では、40年以上の社業で培ってきた杭打ち・基礎工事の技術を直接活かした

ものもあります。杭打ちの技術を応用し、大口径の鋼管を近く深くまで埋設し、その内部を倉庫として活用する「埋設型地下倉庫」です。

直径2.5メートルの円形の鋼管を、深さ30メートルまで埋設が可能、地上の倉庫に比べて耐用年数が長く、工期も半分以下と短くコスト面も比較的安価に建設可能であるのが特長となっています。また、大地震が起きた場合、地表の揺れにくらべて地下は三分の一程度で、地下は地震の影響を受けにくいといわれているため、災害時に備えた非常食や医療品の備蓄、重要書類などの保管に適しています。地下倉庫は、温度が通年、一定に保たれるので、ワインセラーなどとしての活用も可能です。

そして、もうひとつが、土木工事全般を手がけるグループ企業の株式会社九建の実績などをもとに開発した「アスファルト再生機」です。当社の開発に注目した防衛省と共同で実験を繰り返し実用化に至ったもので、航空自衛隊の基地などで導入が始まっており、道路補修需要が高まっている海外からも注目され、手始めにタイへの進出を図っているところです。今後も自社ネットワークを活かして海外事業展開にも力を注ぎ、社会に広く貢献できる会社を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 坂本 俊宏

土木建設事業になくてはならない杭打ち基礎工事において西日本有数の実績を誇る企業でありながら、築き上げたものに甘んじることなく、自社技術をもとに次々と新事業開発に打ち込んで活動領域を拡げていく姿勢は、異業種の私たちから見ても大いに学ぶべきものがあります。

当社が環境負荷低減のために精製するBDFは、脱炭素社会の実現やエネルギーの地産地消に大きく貢献されています。そのBDFを燃料とするBMEベネフィットを活用した災害時支援により、九建グループの活躍の場はますます広がり続けると確信しております。





JS 十八親和銀行

長崎から全国へ。

高品質な輸配送サービスを提供。

幸運ホールディングス
株式会社

代表取締役社長

馬場 邦彦 氏

代表取締役副社長

藤野 芳弘 氏

取引店／十八親和銀行 竹松支店

■会社概要

創業:1953年／設立:2015年(持株会社体制移行)／所在地:長崎県大村市／資本金:800万円
／従業員:846名(グループ合計)／事業内容:
一般貨物自動車運送事業、第二種貨物利用運送
事業、自動車運送取扱事業、自動車回送事業、
自動車分解整備事業、倉庫業、コンビニ店舗輸送
事業、畜産農業／グループ会社:幸運トラック株
会社、アヤカエクスプレス株式会社、有限会社長一運送、有限会社
長崎諏訪運輸、有限会社宝盛運輸、アヤカ自動車株式会社、幸運
ファーム株式会社、島鉄観光株式会社(航空貨物)

会社ホームページは
こちらからどうぞ!



Kouin Holdings Corporation



本社前(左から藤野副社長、馬場社長、山川頭取)

地域の要請に応じて 戦後の長崎で運送業を開始

当社のルーツは、1953年に先代の馬場光徳が長崎県大村市で運送会社を興したのがきっかけです。当時の長崎にはまだ炭坑があった、それに関連した資材運搬をおこなっていたようです。農産物、牛乳、鮮魚なども地域の要請に応じて運んでいたと聞いています。「人と人」「物と物」「地域と地域」の交流をもたらす事業こそ、お客さまに飲ばれるサービスであり、それが「地域社会の発展にもつながっていく」という、当社の活動を貫く強い思いは、創業当時に育まれたものだといえます。

社名の「幸運トラック」ですが、これは、「ラックキータクシー」という長崎の大手タクシー会社があつて、その創業者が先代と親族という関係性もあり業績も好調であつたことから、その日本語版として「幸運」をいただき名づけられたものです。

私が結婚を機に当社に入社したのは28歳の時でした。それまで佐世保の総合商社で幅広い商品やサービスを取り扱い、営業として多岐にわたる役割を担っていたのですが、運送業界での経験はなく、この業務に就くべきか悩んだ時期もありました。「うまくやっていけるだろうか」

と躊躇していた頃、「苦は道を開き、楽は道を閉ざす」という言葉に出会い、新たな世界へ飛び込む決心ができました。この言葉は今でも、私の座右の銘のひとつとなっています。

ドライバーの負担軽減を目指し 2024年問題にいち早く対応

入社後は、有名な大手宅配の運送会社や、大手メーカーに直接営業をかけ、取引先を開拓していきました。そして、1990年には長距離輸送を本格的に開始。ドライバーと車両を増やして事業拡大をしました。その後、長崎から全国へと拠点を拡げていきました。

全国を結ぶネットワーク網は、当社の大きな強みです。日本各地の拠点を介して全国の荷物を九州および長崎へ運び、長崎からも全国へと運ぶことができます。

そして、全国を結ぶ長距離輸送事業は、ドライバーの時間外労働時間が制限される、いわゆる「2024年問題」にも深く絡む対象となります。つまり、ドライバーの負担軽減は、長距離輸送ビジネスでは最重要課題といえます。そこで、当社では、「2024年問題」が注目される何年も前から、新たなビジネスモデルの構築に取り組んできました。



5



3 1



6



4 2





藤野副社長



馬場社長

ドライバーの負担を軽減するため、当社が導入を進めたのが荷台を分離できるトレーラーです。輸送の途中で荷台ごと交換するスウィッチ輸送をおこなうことで、長時間労働を回避できます。たとえば、関東から九州に向かうドライバーと九州から関東に向かうドライバーが、中間地点となる兵庫県加西市の営業所で荷台を交換すれば、両者ともそこから出発地へ引き返せるわけです。

これは、全国各地に拠点を有する当社だから可能な仕組みですが、同業者との連携もおこなって、この取り組みを拡大していくつもりです。また、物流各社が環境問題対策として求められる「モーダルシフト」に関しても、当社は積極的に取り組んでおり、長距離輸送に際して船舶を利用することで、CO₂排出削減、交通事故防止、渋滞緩和への貢献に努めています。

高品質輸送と高度な対応力を 実現する独自の取り組み

全国各地に輸送ネットワークを築いて、主要都市だけでなく地方都市の物流も担う当社では、生産者から消費者に届けるまでの当社独自のサービスで他社にない高度な運行管理体制を構築し、お客さまのニーズに合わせて効率的な輸送をおこなっており、そのための独自の施策を講じています。

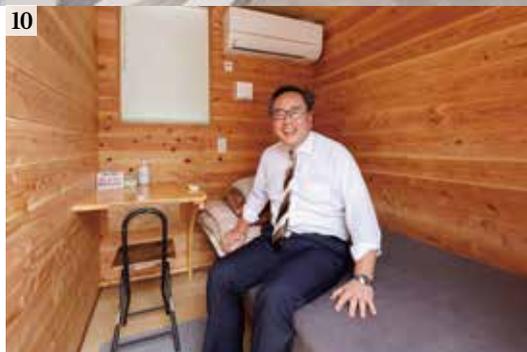
まずは、運行するすべての車両へのドライブレコーダーの搭載。事故・トラブルの発生時、正確な情報を動画で入手して、ドライバーと会社を守ると同時に、安全教育に役立てることが可能です。さらに、高品質輸送実現のために、クラウド型GPS位置管理システムを導入。これによって、運行する車両の位置情報をリアルタイムで



11 9



7



10



8

- 1.対談風景
- 2.トレーラーを見学
- 3.4.GPS位置管理システム
- 5.大型車両の運転席
- 6.予防整備を重視した車両点検整備
- 7.自家用給油施設でのダブル
- 8.冷蔵冷凍車内の様子
- 9.トレーラーハウスの見学
- 10.県内の木材を使用したトレーラーハウスの内装
- 11.企業メッセージ



最前列左から藤野副社長、馬場社長、山川頭取、八尋支店長(十八親和銀行)

確認でき、荷主様からのお問い合わせや緊急時に対応できる体制を整えました。他にも、輸配送管理システムなど、各ニーズに応じた装置の導入もおこなっています。

そして、車両点検整備の徹底。幸運トラックに車両整備部を設置するとともに、グループ会社のアヤカ自動車も車検および点検を担当。エンジン、タイヤ、ガラスなど車の部位ごとのエキスパートがおり、エンジンを下ろしての修理など、「故障する前に整備する」をモットーに、長く安全に走らせるメンテナンスをおこなっています。

また、大型車両のドライバー約500名に加えて、管理者や整備技術者にもトレーラーの免許をもつ者が多数いるため、事故、故障、トラブルの折は、ただちに車両入れ替え、応援等の対応をとれる体制となっています。

これによって、事故や故障の際、もっとも近い営業所が対応して予備車を運行させ、素早く荷物を積み替えて、お約束の到着時刻を厳守する行動がとれます。

エッセンシャルワーカーにできること

コロナ禍を経て、物流を担うドライバーが「エッセンシャルワーカー」として認められる機会が少しずつ増えてきたように感じています。

私たちは「幸運に頼んでよかった」と言われることを誇りとして活動を続けてまいりましたし、私はこれからも社員に「幸運で働けて幸せだ」と思ってもらえる働き甲斐のある会社にしていきたいと考えています。

そういった意味では、出会った方々とのご縁を大切にすることを、私たちのモットーとして掲げ続けていきたい。私たちが、人とのつながり、地域どうしのつながりをもっと強く実感したのは、被災地支援の活動だったかもしれません。2016年の熊本地震では、いち早く食料と水を届けるために車両を被災地へ向けて出発させました。私自身、熊本には親しくさせていたただいている方が多くいますので、少しでも支えになれば、という思いでいたのを覚えています。

また、2011年の東日本大震災の時は、宮崎で大量の水を積み込み、道路状況が混乱するなか、日本海側のルートから仙台へ入って支援物資を届けました。帰路は、移動手段を断たれて故郷へ戻れずにいた若者たちを、うちのドライバーたちが助手席に乗せて運ぶことに。無事に故郷へ帰れた若者たちは、感激して涙を流していました。

どんなにイレギュラーなご依頼であっても、なんとかして運行便を作って、ご要望に誠実にお応えする。そうした日々の活動の積み重ねが生んだ一幕だったのかもしれない。

100年企業となるために

昨年、創業70周年を迎え、私が入社してから40年ほど経ちました。そして30年後に「100年企業」となるためには、長崎自体が元気である必要があります。

これまで築いた人的ネットワークを駆使して、異業種交流会を兼ねたチャリティイベントを開催するなど、地域貢献と活性化につながる取り組みは続けていますが、何といても、長崎空港の24時間化が実現してほしいと願っています。観光客だけでなく貨物も運べるようになれば、全国や世界に向けて長崎の産品を発信できるようにになるでしょう。これからも、安全かつ迅速・確実・丁寧な輸送で高品質な物をお届けし、お客さまの可能性へとつなげるお手伝いをおこなってまいります。



70周年記念広告(2023年10月12日長崎新聞掲載)

■ インタビューを終えて

十八親和銀行 取締役頭取 山川 信彦



当社は創業から70年、さまざまな地域の物流需要に応じて業容を拡大し、今では700台以上のトラックと、全国にネットワークを有する物流企業グループとして成長を続けています。

ドライバーの負担軽減への継続的な取り組みや、安全を第一に考えた車両の点検整備体制、GPS位置管理システムの導入による高品質なサービスの提供などによって、お客さまから高い支持を得るとともに働きやすい環境づくりに永年取り組み業界で確固たる地位を築いて来られました。

これからも、働き甲斐のある地域・社会に貢献する企業であり続けるとともに、100年企業を目指して発展されていくことを期待しています。

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

グリーンコープ
せいかつきょうどうくみあい
生活協同組合みやぎさ

代表理事 理事長

かわぐち かよこ

川口 香代子氏

取引店／福岡銀行 宮崎支店

「組合員が主人公」
組合員により成り立っているグリーンコープ

母親の願いから始まった
グリーンコープ

グリーンコープの始まりは、家族の健康と未来を守っていききたいと願う母親の願いから出発し、食べものに関することをはじめ、福祉、環境、平和など、生活の身の回りにある様々な活動を組合員が主役となって取り組んでいます。

グリーンコープは西日本を中心に関東、関西、九州の16府県で活動する団体組織で、本部機能を

有する一般社団法人グリーンコープ共同体、取扱商品の調達を集約したグリーンコープ生活協同組合連合会、各府県の独立した単位生協で成り立っており、安心・安全な商品の開発や、心豊かな暮らしを実現するための平和・環境・福祉・子育て・その他の支援など、さまざまな事業と活動を行っています。

グリーンコープ生活協同組合みやぎさは、1998年に設立され、宮崎県の単位生協として主に食料品や生活必需品を組合員に販売して

います。現在では県内での配送可能エリアも広がり、登録組合員数は2023年10月現在で約7,600名となっています。

食べ物から生活用品まで、
人や環境に優しい商品ばかり

グリーンコープの商品は、組合員の思いやこだわりがカタチになったものです。「子どもたちに安心・安全な食べものを食べさせたい」「みどりの地球をみどりのままで子どもたちに」という母親の願いを込めています。牛乳、産直たまご、パン・



商品ラインナップ

お菓子、産直肉、青果、お米、加工品・魚介、調味料、化粧品、せっけん、民衆交易品などにおいて、無農薬・減農薬の産地直結の安心食材や、原料や作り方にこだわった安心のラインナップで商品を提供しています。

ニーズ別に選べる、宅配＆商品お預かりシステム

グリーンコープでは、独自のさまざまな方法でご注文いただいた商品を配送しています。「個別配送」、ご近所や職場の仲間など複数人で利用する「ペア個配」「班配」、子育て中の方は配送料を一定期間無料にする「キッズ個配」「赤ちゃんすくすく個配」の5つのタイプのお届け方法を選択いただけます。また近くの「商品お預かりステーション」で営業時間内であれば、都合のよい時間に受け取れる「キープ&ショップ」も行っており、専任スタッフが常駐し受け渡しを行っています。

設立当初から取り組んでいるサステナビリティ

グリーンコープグループでは、SDGs・脱炭素という言葉が世間一般に出てくる前から、安心・

安全な商品提供や牛乳びんやトレーの回収をはじめとした環境面に配慮したりサイクル・リユースなどの取り組みを行ってきました。

現在、「2027カーボンニュートラル」実現に向けた取り組みとして、「包材や容器のリユース・リサイクル（4R運動）」、「国産の食べ物を食べる（輸送に伴うCO₂削減）」、「省エネを徹底し、化石燃料の使用を削減する（EV車導入）」、「CO₂を排出しない（グリーンコープでんき）」を広げる（再生可能エネルギーを利用）」、「CO₂を吸収する（植林活動）」の5つを目標にして活動を行っています。そのほかカーボンニュートラル以外にも「せっけん運動」や「ファイバーリサイクル事業（衣類）」、「民衆交易を通じたアジアの人々への自立支援などの社会貢献活動」などにも取り組んでいます。

「みやざき」独自のサステナビリティ

当組合では、地域福祉活動を独自に展開しています。

子どもを中心とした多様な世代の人が安心して集える「子どもの居場所」を提供し、小中学校の食育活動や組合員の寄付で食材を無償で提供するフードサポートなどを行い、地域での取り

組みが豊かに広がっていくようにサポートするなどの「子育て支援」を行っています。

また、宮崎県は中山間地域の人口減少や高齢化の進行を背景に、身近な商店が閉店するなど、徒歩圏内で生鮮三品をはじめとする生活必需品を購入できる店舗が不足しています。当組合では、宮崎県都市との協働事業として、それらの地域において、移動販売車で買い物場を提供する「買物困難者支援事業」を行っています。日常生活の身近な買い物に不便を感じている高齢者などに買い物しやすい環境を提供しています。



買物困難者支援事業の様子



社員集合写真(2023年10月新設都城配送センターにて)



EVトラック

カーボンニュートラルを 実現する事務所

2023年10月に新設した都城支部を「カーボンニュートラルを実現する事務所」として位置づけ、可能な限りのCO₂排出量削減を進めていくことを考えています。具体的には電気自動車や太陽光発電システムの導入を2027年度までの実現目標としています。

働きやすい職場環境づくりと ドライバーシティの実現に向けて

当組合では、時間外労働の削減や有給休暇取得、男性の育児休業取得を推奨するなどのワークライフバランスに向けた取り組みや、社員育成の一環として資格取得や各種講習会への参加を促しその費用を負担するなど、働きやすくなりがいのある職場づくりに努めています。そのため定年後も延長して働く職員が多数在籍しています。

当組合は、家族の健康と未来を守っていきたくて願う母親の想いから出発していることから、多くの女性職員が活躍しており、今後、女性職員の管理職や役員への登用も検討しています。また外国人労働者の採用も検討するなどドライバーシティの実現に向けて取り組んでいます。

サステナブルファイナンス

福岡銀行の「EFG」ポジティブ・ インパクト・ファイナンス」を利用

2023年12月に取引店である福岡銀行宮崎支店にて、サステナブルファイナンス「EFG」ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用いたしました。

このファイナンスは、当組合の事業活動やサステナビリティへの取り組みを分析・評価いただき、サステナビリティ活動の目標を設定して、その後も定期的に状況を確認してもらいながら、サステナビリティへの取り組みを伴走支援いただく商品です。銀行に作成いただいた評価書は、福岡銀行のホームページで確認できますので、ご覧いただければ幸いです。

当組合の活動を整理していただき、その活動がどのように環境・社会・経済に影響を与えているかを分析・評価いただいていますので、それを既存の組合員の皆様に周知し、今後新しく組合員になっていただく方へも知ってもらえたらと思っています。今回、環境・社会・経済における目標を



〈FFG) ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈(左から川口理事長、柳原支店長)

計6項目設定しております。その目標達成に向けて社内勉強会を行い、さらに成長できる企業を目指して、職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。

グリーンコープ生活協同組合みやざき

- 本社所在地：〒880-0844 宮崎市柳丸町11番2号
- 電話番号：0985-35-7300
- 事業内容：食料品・生活用品の小売業、貸付業



FFG公式YouTubeチャンネルでは当組合ヘインタビューしています。こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式
チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに
関することは
何でもご相談ください

ふくおかフィナンシャルグループのお取引先企業の中から、サステナブルファイナンスやSDG5コンサルティングをご利用いただいた企業のサステナビリティの取り組みをご紹介します。

〈今回ご紹介する企業〉

たにがわけんせつ

谷川建設グループ

たにがわけんせつ
株式会社 谷川建設

かいほつ
株式会社 マルキ開発

代表取締役

たにがわ

谷川 喜一氏

取引店

(株)谷川建設…十八親和銀行 本店営業部

(株)マルキ開発…福岡銀行 長崎支店

株式会社谷川建設

真の豊かさを提案する

住宅総合企業として、信頼と実績を

重ねてきた谷川建設の家づくり

木の力を知り尽くした

「TANIGAWA」だからこそ

実現できる生涯の「快適」「安心」「健康」

を約束する家

当社は、長崎県の五島列島で製材加工販売業として祖父が谷川商事を創業し、1971年に住宅部門を父が独立させ、長崎市にて株式会社谷川建設を設立しました。創業以来50年、家づくりを

通じて人々に心のやすらぎを提案し、社会に貢献するという一貫した哲学のもと歩んでまいりました。

現在では、長崎・福岡といった九州エリアを中心に広島・東京にも拠点を置き、個人の注文住宅建設を主軸にその他にもビル建築工事・土木工事、リフォーム工事、建売・分譲地プロジェクトなどの事業も行っております。

当社は多様化する時代の要請に応えながら、日本風土に根差した木造在来軸組工法の原点を見失うことなく、丁寧な家づくりに取り組んでいます。特に古来より継承された伝統技術と、障子や畳に象徴されるような趣を尊重するなど、和の造詣に重きを置いています。

「TANIGAWA」では、「檜」の優れた性質を活かした木の家づくりにこだわり、無垢材を活かし

きる確かな技術を持つ職人によって高い品質を守っています。また、お客様一人ひとりの住まいと一緒に考えていく専任の設計士がおお客様の想いをくみ取り、理想を超える提案を行い、「快適さ」の先の感動をお届けしています。

地震や火災など、万が一の時に家族を守る確かな技術、そして毎日を快適に過ごすために不可欠な空気環境の確立、住む人が健やかに長く安心して過ごせる家づくりを追求しています。



2022年グッドデザイン賞

賞状▶

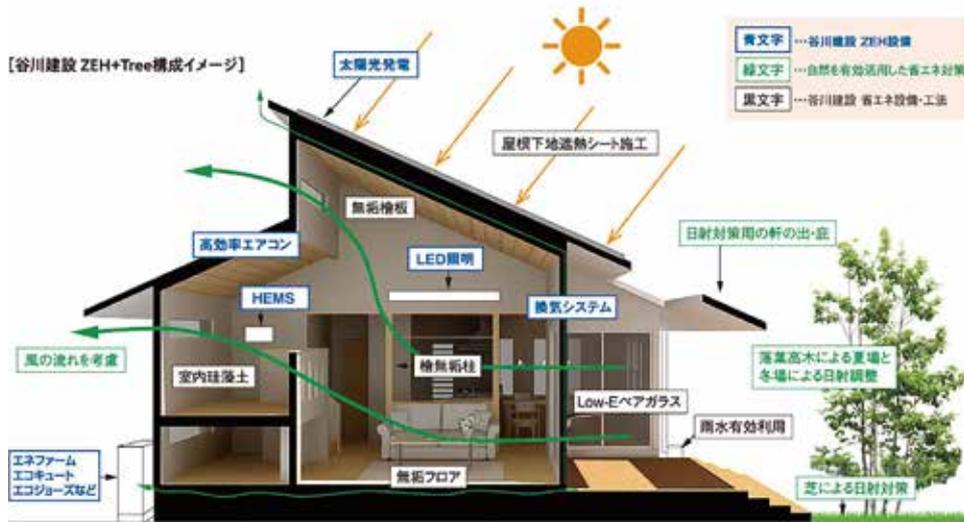
温暖化を抑制する環境づくり

「ZEH+Tree」

当社は、「温暖化を抑制する環境づくり」を最重視しており、脱炭素に関する取り組みを行っています。注文住宅において、「ZEH」ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの普及促進、さらに「檜の家」のメリットをプラスした「ZEH+Tree」を提案しています。檜にはダニやカビ防止となる調湿効果、抗カビ・防蟻・防ダニも期待できる抗菌効果、そして脱臭効果をもつとされています。ZEHの力でエネルギー消費を抑え、コントロールするだけでなく、檜が本来持つ力を活かすことで、快適性や健康面にまで配慮する家づくり、つまり「ZEH」と「Tree」の両方を活かした「smart wellness house」を提唱し、地球にも人にも優しい家づくりを進めています。また風の流れを考慮した設計や落葉高木や芝による日射調整・対策といったパッシブ省エネ手法を取り入れた省エネ住宅の実現を目指しています。

そのほかLCCM住宅(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス)への取り組みや、家づくりで使用する柱と同じ数だけ植林を行う活動、残材・端材を障がい者施設で木製品にしてお客様へ配布したり、木材チップに加工してバイオマス燃料として利用

するなどの様々な取り組みを行っています。さらに自社ビル屋上や工場の屋根に太陽光発電設備を設置したり、ハイブリッドカーの推奨、オフィスのLED化にも取り組んでいます。



谷川建設 ZEH+Tree構成イメージ

社内においては、「社員が能力を發揮できる組織づくり」「誠実で透明性のある事業の推進」を目指し、働きやすい職場環境づくりの徹底、人材育成、ダイバーシティの実現などにも積極的に取り組んでいます。

また地域に根差した企業として、学生の職場体験やインターンシップの受け入れ、地元プロスポーツチームへの協賛、寄付金にて中国の雲南省に小学校建築を行うなどの社会貢献活動も積極的に行っています。

サステナブルファイナンス

十八親和銀行(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス 第一号案件

2023年10月に、取引いただいている十八親和銀行本店営業部にて、FFG共通商品であるサステナブルファイナンス「(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を第一号案件として利用させていただきました。

この商品は、当社の事業活動や取り組んでいるサステナビリティへの取り組みを分析・評価していた

だき、目標を設定してその後も定期的に状況を確認してもらいながら伴走支援いただくものです。十八親和銀行が、目標達成に向けて達成度合を毎年共有して、伴走支援していただけるとのことで大変心強く思っています。

本件を通じて、社内における取り組みについて全社員で再認識できたと感じております。当社に関わるすべての人がSDGsの考えに共感し、全社員が当社の一員として働くことに誇りを持ち続けられることを目指していきたいと思っております。

株式会社マルキ開発

「TANI-GAWA」の

家づくりに使用する建材の卸・販売

無垢フローリングや家具など

自社オリジナル商品を展開

当社は1986年に建築資材の卸売業として設立し、現在では、自社製品の開発・販売、住宅建材の卸・販売、プレカット加工・販売、屋根・外壁・エクステリア工事を行っています。谷川建設が主な販売先になりますが、一般の建設会社や工務店も取り引きを行っております。

当社は、品質にこだわった谷川建設の家づくりに使用する建材や材料の手配を主に担っており、数多くの国内外の有名メーカーから厳選した建材や設備機器の卸・販売を行っており、問屋や卸などの中間業者を通さずにメーカーとの直接交渉で適正な価格での提供を可能にしています。

また無垢フローリング、建材、内装材、家具などのオリジナル商品の開発も数多く手掛けています。他社にはない独自製品を開発し、世界中から



自社製品の開発・販売のパフレット

厳選した木材を仕入れ、ベトナム・中国の協力工場で生産することで優れた品質とお求めやすい価格を実現しています。無垢床材から建具まで、バラエティに富んだ製品の中から選ぶことが可能になっています。

そのほかプレカット加工では、品質管理を徹底して高品質の木材を一貫生産することで、技術のばらつきを解消し、均一で精度の高い資材を提供しています。お客様の要望に応じた資材を提供することで、自由度の高いデザインの住まいづくりに貢献しています。

資材の提供のほか屋根工事、外壁工事、エクステリア工事なども手掛け、住まいの顔であるこだわりの外装を優れた技術でカタチにしています。

COOL CHOICEへの参画

当グループでは、SDGsの取り組みとして担当部署を設置し、活動内容を社内報で周知して従業員への意識の向上を図っています。

CO₂などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買い替え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中であらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みである「COOL

「CHOICE」に参画して、電動フォークリフトへの入替、オフィスのLED化など、脱炭素へ向けたさまざまな取り組みを実施しています。

サステナブル
ファイナンス

SDGs私募債の発行

取引店である福岡銀行長崎支店において、「SDGs私募債」を発行しました。

「SDGs私募債」は、私募債を発行する際に福岡銀行が得る収益の一部をSDGsに資する団体等へ寄付する銀行保証付私募債です。

福岡銀行との協働で地域社会のSDGs活動や課題解決に貢献していきたいと思っております。



株式会社 谷川建設…(FFG)ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行の記念楯を贈呈 (左から谷川社長、十八親和銀行 本店営業部 三浦部長)



株式会社マルキ開発…SDGs私募債の寄付「植樹証明書」を贈呈 (左から谷川社長、福岡銀行 長崎支店 豊田支店長)

株式会社 谷川建設 / 株式会社 マルキ開発

■本社所在地：〒852-8115 長崎市岡町9-1

■電話番号：095-848-3552

■事業内容：(株)谷川建設…建設業(個人注文住宅、建築・土木工事) / (株)マルキ開発…建築資材の卸・販売業



FFG公式YouTubeチャンネルでは当社へインタビューしています。こちらをご覧ください。



FFGでは企業のSDGs/ESGの取り組みを支援しています

FFG公式チャンネルはこちら



ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 サステナビリティ推進企画グループ
■お問い合わせ：TEL.092-723-2512

サステナビリティに関することは何でもご相談ください



地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。今回は、自治体と連携したアトツギ・サッシンベンチャー支援の取組みについてご紹介いたします。

福岡県のアトツギ・サッシンベンチャー伴走支援プログラムスタート！ ～テイクオフParty開催～

近年、事業承継が企業の課題として語られることも多い中、中小企業庁が2023年7月に「アトツギ支援コンソーシアム」を開設するなど、アトツギ支援への注目が高まっています。「アトツギ」とは企業の後継者を指す言葉ですが、福岡県では、家業後継者や家業後継予定者（アトツギ）が家業の存続・発展に向け、新規事業への参入や社内改革を行うにあたり、必要となる組織内での理解促進や機運醸成への支援を行っています。2021年から、県内中小企業支援の一環としてアトツギ支援に特化したプログラムを実施しており、今年度からプログラムを一新。中小企業のうち事業承継前の後継者を「アトツギベンチャー」、後継者でなくても第二創業など新分野に挑戦する経営者もしくは新規事業責任者を「サッシンベンチャー」と位置づけ、「アトツギ・サッシンベンチャー創出・育成事業」としてその挑戦を後押しする複数の伴走支援プログラムをスタートさせました。

伴走支援プログラムは「アトツギ・ベース」、「サッシン・ベース」、「アトツギ・ジャンプ（モノづくりコース）」、「アトツギ・ジャンプ（サービスコース）」の4つが展開され、それぞれ異なる成長ニーズに対する支援が受けられます。福岡銀行は、地域事業者の事業承継の課題解決の一環として、本事業に後援企業として参画し、本事業や伴走支援プログラム内容の

周知を行っています。また、周知にとどまらず、今後実施されるセミナーやワークショップなどの伴走支援プログラムへ参加しながら、地域金融機関としてのアトツギ支援に向けた取組みの検討を進めていく予定です。





本事業のスタートとして、2024年7月18日（木）に、「アトツギ・サツシンベンチャーテイクオフParty」が開催され、若手経営者や福岡銀行を含む金融機関・地方自治体といった支援機関など、総勢約150名が参加しました。服部誠太郎福岡県知事による事業説明プレゼンテーションや先輩アトツギによる講演、今年度の支援プログラムに参加する企業の紹介および交流会も開催され、機運醸成につながるイベントとなりました。

「アトツギ・ジャンプ」は募集を終了していますが、先輩アトツギ等によるセミナーや新規事業開発のワークショップを行う「アトツギ・ベース」、「サツシン・ベース」は引き続き参加者を募集していますので、ご興味のある方は是非お申し込みください。



アトツギ・サツシンベンチャー
支援ポータルサイト

今後もFFGでは地域の課題解決・活性化につながる取組みや、福岡県や地方自治体とともに、地域事業者が抱える事業承継の課題解決をはじめとした、お取引先の業績に貢献する取組み（本業支援）を推進してまいります。



集合写真



服部誠太郎福岡県知事による事業説明



先輩アトツギによる講演

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



福岡銀行（左から）
ソリューション営業部 岩田・地域共創部 工藤
【お問い合わせ】092-723-2561

お取引先の社会貢献活動を
紹介するコーナーです

われら
社会貢献
企業



だいとうしょうじ 大東商事株式会社

「リサイクルエネルギー創造企業」として循環型社会の発展に貢献し、
持続可能なビジネスモデルを構築。
また、さまざまなSDGs活動に取り組みられており、なかでもペットボトルキャップ
回収によるワクチン提供のサポートに力を入れておられます。

ネジメントシステム国際規格ISO27001の
認証を取得し、既に取得済のISO14001
と併せ、環境保全ともにお客さまの情報資産を
守る体制を確立されています。



熊本県内の4つの拠点に100%リサイクルを
可能にする設備を持ち、産業廃棄物を適正・丁寧
に処理し、「NOと言わない大東商事」としてお客
さまのご要望に応えられている大東商事株式会
社。産業廃棄物の中間処理から最終処理までワン
ストップでお客さまからのご要望に応えられ、同業
の方からのご相談にも真摯に対応し、頼られる存
在となっています。最近では電子マネーの導
入サポートも行っており、お客様から大変喜ばれて
います。

2018年5月にはお客さまからの要望に応え
る形で新たに県南地区の拠点となる、八代リサイ
クルセンターが竣工。2020年7月の豪雨災害
の際には、発災後の災害ごみの処理はもちろん、
その後の道路などのインフラ整備により排出され
る廃棄物の処理を行い、熊本県南地域の災害から
の復旧・復興にも尽力されました。

また、2023年10月には、情報セキュリティ



ペットボトルキャップを積んだトラック

日常業務の延長線上にある SDGsの8つの目標

同社は、経営理念の「自然と人間の調和を保ち、次世代に豊かな未来を残す」を実践するために、日常業務の延長線上にある、社員自らが選んだ8つの目標に対するSDGs活動にも熱心に取り組まれています。

社内にSDGsプロジェクトチームを立ち上げ、リサイクルや資源を大切にすることの重要性を伝える社会貢献活動を積極的にを行っています。

その活動はペットボトルキャップ回収活動によるワクチン提供サポートをはじめ、福岡大学等との産学連携による「熊本港干潟再生プロジェクト」、地域・行政との体験型SDGsイベント、「使用済てんぷら油を活用したバイオディーゼルの使用によるカーボンニュートラルの実現、古くなっ

た作業服を断熱材などに活用するマテリアルリサイクルなど、身近なものでSDGs活動を体現しています。

ペットボトルキャップ回収による ワクチン提供のサポート活動

同社はもともと社内だけで集めていたペットボトルキャップの寄付活動をされてきましたが、回収のお手伝いをしてほしいという企業・団体からの要望を受け、協働という形でペットボトルキャップ回収活動を始められました。ペットボトルキャップを提供されたお客さまには同社から回収受領書が発行されます。回収したペットボトルキャップを資源物として販売し、その収益はNPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」(※)に寄付され、開発途上国の子どもたちのワ



干潟再生プロジェクト



お仕事見学会



お仕事見学会



ペットボトルキャップ回収受領書(見本)



回収したペットボトルキャップ



ペットボトルキャップ回収時に小学校で記念撮影



小原 英二 社長



「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」から感謝状を授与される小原常務取締役(左)

クチンとなります。

同社はこのNPO法人の指名回収業者に認定されており(熊本県内に2社のみ)、今までに121の企業・団体からのペットボトルキャップ回収を引き受け、直近1年間では約4,400kg(約660本分のポリオワクチンに相当)にもなります。先日、これらの活動によりJCVから感謝状が贈られました。

捨ててしまえばただのゴミになってしまうペットボトルキャップも貴重な資源として人の役に立つということ、「一人でも手軽に始められる」というきっかけになればという思いから、同社はペットボトルキャップ回収活動の意義をお客さまに広く呼びかけられています。

資源の再利用やリサイクルを促進し、廃棄物

を最小限に抑えた持続可能な社会づくりがSDGsです。同社の事業そのものではありませんが、別の視点から見ると利益の追求とは逆行した動きとも言えます。それでも次世代に豊かな未来を残すため、循環型社会の発展のために、あらゆる分野の方々とパートナーシップを取り、協力し合うことが大切と考えており、その一つとしてペットボトルキャップ回収に尽力されています。

SDGsの取り組みはともに協力し合うことが大切です。だからこそ協働という形を取っており、同社が持つ引き出しをお客様にも活用してもらいながら、ともに子どもたちの未来を守っていきたくと考えておられます。

大東商事株式会社はこれからも社会貢献活動に

取り組んでいきます。

(※)「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」: 開発途上国の子どもたちにワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行っている民間の国際支援団体



大東商事株式会社
ホームページ

入口のくまモン
看板が目印です。



企業概要 大東商事株式会社

創業	1983年5月
所在地(本社)	熊本市北区楠野町453-1
事業所	熊本市北区(本社)、熊本市西区、熊本市東区、八代市
資本金	2,000万円
従業員数	135名
事業内容	産業廃棄物中間処理、収集・運搬業
取引店	熊本銀行託麻支店
大東商事株式会社 ホームページ	https://www.edaitou.com/

企業の経営者・人事労務担当者の皆様へ
女性活躍推進に向けた

専門家派遣のご案内



女性を含む様々な人材が活躍できる
職場づくりに向けて、専門家を派遣し、
コンサルティングを行います。

令和4年4月1日から、一般事業主行動計画の策定・届出の義務が常時雇用する労働者数101人以上の企業へと拡大されました。

専門家派遣でどんなことができるの？

一般事業主行動計画
策定等の支援

女性のキャリアアップ
の取組への支援

柔軟な働き方ができる
環境整備への支援

職場の意識改革の
ためのセミナーの開催

派遣する専門家のご紹介

他にも多数の専門家が対応可能です。
ご相談内容に合わせて適切な専門家を派遣いたします。



社会保険労務士
野田亜以子

◆専門分野
・一般事業主
行動計画策定
・助成金に関する
相談支援
・女性活躍推進等
企業内研修



社会保険労務士
阿野貴子

◆専門分野
・労務管理/
労務相談
・助成金申請
・一般事業主行動
計画策定



中小企業診断士
原田和泉

◆専門分野
・業務改善・効率化
・経営革新計画
策定支援
・補助金申請
・事業承継支援



中小企業診断士
黒木美由紀

◆専門分野
・業務改善・効率化
・マーケティング、
販売戦略
・補助金申請

お気軽にご相談ください。

対象 県内企業
事業所 方法 訪問支援・オンライン相談・電話による
サポート等を行います。(1社につき4回程度)

申込
方法 専用ホームページのエントリーフォームか、お電話でお申込みください。
URL: <https://public.lec-jp.com/josei-fukuoka/>



二次元コードからも
お申込みいただけます。

無 料
サポ ー
ト
いた しま せ
ん!

お問合せ先 福岡県 企業における女性活躍推進事業「専門家派遣」運営事務局 LEC東京リーガルマインド福岡支社
〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 天神ショッピング福岡8F(西鉄天神駅から徒歩8分、地下鉄天神駅から徒歩4分) ※駐車場はありません。

TEL 092-715-4383 担当/中村・有吉 当事業は株式会社東京リーガルマインドが福岡県から委託を受けて実施しています。

日々お客さまと接する支店長が
キラリと光る企業や商品を紹介する
コーナーです。

人の健康を第一に考えた良質な水を研究し、 世代を超えて使える高品質な セントラル式浄水システムを開発。

株式会社クロスポイント
代表取締役 齊藤智樹氏
乗馬倶楽部 KOKURA
マネージャー 齊藤磨希氏

取引店／福岡銀行 守恒支店



医療施設等導入、大型浄水器

セントラル式浄水システムの開発・販売で高い品質を誇る株式会社クロスポイント代表取締役の齊藤智樹氏と乗馬倶楽部KOKURAMANAJIAの齊藤磨希氏に守恒支店の永渕支店長がお話を伺いました。

―クロスポイントの沿革についてお聞かせください。

齊藤智樹社長（以下、齊藤社長） 当社の起源は1990年、バブル崩壊直前にデータサービス事業会社として設立しました。私は大学時代に工作機械メーカーでアルバイトをしていたのですが、当時は機械が

あつてもオペレーターがいなかった時代。そこに目を付けて図面からプログラミングを行うデータサービス事業を開始したのです。

当時は、知り合いの工場でマシニングセンターなど加工技術の現場も見てきました。加工技術に関連したデータサービス事業をしたかったのですが、どの企業も九州は生産拠点、目的の研究所は関東にしかなかったため断念。需要があったのはスチールドアの設計などで、その仕事を受注することに。本業のデータサービス事業を行いながら、親戚の鉄工所の事業に協力し、鉄工所の専務にも就任しました。本来想定していた事業との乖離がありましたが、環境にも



JRA現役騎手のサイン入り靴



小型化しながらも性能を高めてきた光水

恵まれ事業は拡大を続けました。

—順調に事業を拡大される中、なぜセントラル式浄水システムの事業を始められたのですか。

齊藤社長 順調に事業を拡大していく中で母が体調を崩したことがきっかけです。母の健康のためにできることはないかと、薬などについて調べていく中で、水と健康の関係性についてのデータに注目しました。水というのは地層を通り水質を変えながら長い年月をかけて濾過され、その過程によってミネラルなど水質に変化があることに目をつけ、漢方薬である冬虫夏草の成分の抽出力を高める、活性炭と磁場を併用した循環装置の開発に取り組みました。

水質の研究をしていくと同時に、当時3歳の姪っ子がアトピーで悩んでおり、少しでも症状を軽くして楽にさせたいという想いから治療法を調べていました。アトピーの症状が夏のプールの時期にだけ悪化することに疑問を抱き、塩素が原因ではないかという結論に至りました。早速水道水の塩素除去を試したのですが、追い炊き機能がない家庭環境では難しかったため別の方法を探すことに。それならばボイラーの手前で水質にアプローチするしかないと考え、浄水器の取り組みを始めたことが、セントラル浄水システムに関わるきっかけになりました。

—データサービス事業の経験を活かしたことで塩素を取り除く浄水器の開発にも取り組めたのですね。

齊藤社長 そうですね、しかし、塩素は必要悪であり、完全に取り除くことは水道法により禁止されているため、実用的なセントラル式浄水システムを開発するのは大変苦労しました。更に、実用的な商品の開発を進めても、当時主流だった訪問販売は売り逃げする事業者も多く、なかなか信用されなかったため、販売先の開拓が難しかったです。

販路を探していく中で、私が馬術部に所属していたことによる人脈から、競走馬のトレーニングセン



齊藤智樹社長



左から齊藤磨希マネージャー、齊藤智樹社長、永洲支店長(福岡銀行)

ターに浄水器を持ち込むきっかけをいただき、その後はJRAの施設で競走馬の飲み水や洗体用の水に浄水器を使用してもらったことを皮切りに、ディープリンパクトが凱旋門賞に出馬した際には飲料水として当社の浄水器が使用されました。

今となっても実感するのですが、人とのご縁があり事業が発展に導かれていると思います。

―人望の賜物ですね。一般市場へ販路が拡大したきっかけはありますか。

齊藤社長 更なる販路拡大を目指し、県の補助金を活用して東京の展示会に出展をしました。中小企業だと小さいブースを1つ借りるのが普通ですが、私は人と同じことをしても成功しないと考え、思い切って4ブースを借りて大々的に浄水器の宣伝を行ったのです。これが功を奏し、それから4年間は途切れることなく仕事の依頼をいただきました。販路は、デパートや外商、エステなどの企業に広がり、大手メーカーの力もお借りしながら、セントラル方式の浄水器としてのブランドを築き上げてきました。

―浄水器販売メーカーとしての地位を確立してきたのですね。現在の主力である家庭用のセントラル式浄水システム開発のきっかけを教えてください。



乗馬シミュレーター(左)と競馬シミュレーター(右)



ディープリンパクトが凱旋門賞に出走したときに使用されていた光水

齊藤社長 順調に進んでいた浄水器の販売もリーマンショックで売り上げが大幅に減少しました。事態打開のため、水道法に適合した残留塩素緩和装置として特許を取得、併せて小型化、価格も従来商品の半額以下に抑えました。健康志向を反映したマンション、注文住宅の標準設備に採用いただけるよう開発努力の結果、累計出荷台数65,000台、弊社メインブランドの「光水」を開発。単独でも15,000台のご利用をいただいております。

ーメインブランド「光水」の特長を教えてください。

齊藤社長 光水は、2次フィルターを活用することでダイヤル一つで塩素濃度を調整する特許技術を採用しています。法定内の塩素濃度で細かく調整して良質な水を作れることが光水の強みです。

また、近年水道水の汚染問題として話題になっている発がん性の疑いがある有機フッ素化合物「PFAS」^{ペーファス}も弊社ろ過フィルターの通水性能試験で残留塩素ろ過能力相当以上の定量的除去性能が確認されていますので、安心してお使いいただけると思います。

ー安全な水をお客さまに届けたいという想いから生まれた商品なのですね。今後のクロスポイントについてどうお考えでしょうか。

齊藤社長 当社の商品開発において、人体への影響を考えて高い品質を求めてきたというのは当然のこと、子ども・孫に渡りような商品をお客さまに届けたという想いから、コストや溶接方法、製造方法にこだわること、長期間使用することが出来る商品を開発・開発してきました。お客さまのニーズに合わせることを当たり前にやるという気持ちで今後も品質の高い商品を提供してまいります。

当社も35周年を迎え、後継者を考えるとともに、新規事業の計画を進めてきました。それが弊社の浄水とオゾン水が体感できるシャワールームと乗馬シミュレーターを導入併設した「乗馬倶楽部KOKURA」です。本事業は娘の磨希がマネージャーとなり事業を経営してくれています。

ーここからは磨希マネージャーにお話を伺います。まずは乗馬シミュレーターの特徴について教えてください。

齊藤磨希マネージャー(以下、齊藤マネージャー)

当社に導入している乗馬シミュレーターは、ライダーが作成した本物の馬の動きを研究し、忠実に再現したシミュレーターです。重心のバランスをデータで見ることが出来るため、国体選手がバランス調整で



競馬シミュレーターを体験する永渕支店長



安全に乗馬の練習ができる乗馬シミュレーター

活用していたり、初心者の方でも乗馬の基礎を学ぶ
トレーニングで活用されています。

特に初心者の方が初めて馬に乗る際は、危険があるため緊張感を持って乗らなければなりません。乗馬シミュレーターであれば、横に立って指導をすることで安心できる環境で基礎を学ぶことができ、上達
が早いです。乗馬の試合のように経路を辿るシミュレーションを体験することもできます。

また、乗馬は日常生活ではあまり使わない筋肉も使うため、エクササイズになりますし、下半身や体幹の強化にも効果を発揮します。全身の筋肉を使うので健康維持にも役立ちます。

更に西日本唯一のJRA小倉競馬場に近い立地を活かし、競馬シミュレーターも導入しています。競馬学校にも導入されているシミュレーターは本格的なトレーニングもできますが、ドバイメイダン競馬場のレースを体験することもできます。また安全性も高いため、お子さまから利用もできます。

―乗馬の経験やマネージャーになるまでのご経験を教えてください。

斉藤マネージャー 小学校5年生から高校3年生まで小倉競馬場で乗馬を学び、大学時代の4年間は乗馬クラブに通っていました。大学を卒業してからは

乗馬を離れ、4年間は東京で引越し会社の営業として働いていました。

―営業からの転身ですが、その時の心境をお聞かせください。

斉藤マネージャー 父から今回の話をもらった時は驚きましたが、今後の事業のことを考えての話でしたし、おもしろそうという気持ちのほうが強く、引き受けることにしました。事業に取り組むと決まり、福岡に戻ってきてから乗馬インストラクターの資格を取得しました。



斉藤磨希マネージャー

株式会社 クロスポイント



- 設 立：1990年4月
- 本社所在地：北九州市小倉北区
- 資 本 金：5,000万円
- 事業テーマ：「人暮貢水」人の暮らしに水を通じて貢献する。
- 事業内容：製造メーカー事業・家庭用・業務用セントラル方式浄水システム「光水」
企画開発・製造・卸販売



乗馬倶楽部KOKURAのご利用についてはこちら

聞いた人



福岡銀行 守恒支店
支店長 永瀨 紀男

ご家庭に安全安心な水を提供したいと開発・販売が開始されたセントラル式浄水システム「光水」。営業をかけずにヒットしている背景には、品質の高さだけではなく齊藤社長の人柄と人脈がありました。人が求めることを当たり前に取り組む姿勢は我々も見習っていかねばなりません。

乗馬倶楽部KOKURAでは、競馬シミュレーターを体験しましたが、フラフラになるぐらい全身の筋肉を使いました。パリオリンピック代表のボクサーもトレーニングに利用されたことがあるようで、あまりの激しい動きに利用者からは「悪魔のクロスポイント」と呼ばれているそうです(笑)。

お客さまに高品質の商品を届けたいという齊藤智樹社長と、次代を担う齊藤磨希マネージャーの更なるご活躍を願っています。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

「この仕事をしていてよかったと思った瞬間はありますか。」

齊藤マネージャー 初めて乗馬をするから基礎的なことを教えてほしいというお客さまがいたのですが、乗馬シミュレーターでは近い位置でマンツーマンで教えることができるので、実践ではなかなか落ち着いて教えることができない細かいコツやポイントをお伝えしました。そのお客さまが実際に乗馬クラブに行つたときに「上体の力みが取れ、騎乗姿勢を褒められました」と感謝のメッセージをいただいたときは、嬉しくてやりがいを感じました。

「これからの目標を教えてください。」

齊藤マネージャー これまでアフターメンテナンスを重要視し、ユーザーのご紹介をベースにあまり積極的な売り込みをしないスタイルで販売してきたセントラル式浄水器「光水」をはじめ、新事業の乗馬シミュレーターの認知度はまだ低いと思われま。今後は、クロスポイントの事業の認知度を高め、セントラル式浄水システムといえばクロスポイントと言われるように当社の事業や取り組みをお客さまに伝えていきたいです。

Topics of the month

「2024年度FFG経営塾 (旧:FFG次世代経営塾)」を開講

グロース・ワン

2024年7月25日(木)、GROWTH Iにおいて、「2024年度FFG経営塾」を開講いたしました。

福岡大名ガーデンシティのテラス棟2・3階にある「GROWTH I」は、スタートアップ企業と地域企業が交わる場所としてFFGが昨年8月に設立した施設です。FFGの新たな価値を提供できればとの思いから今年度は本会場にてFFG経営塾を開催しております。

「FFG経営塾」はFFG3行のお取引先企業の若手経営者や後継者の方々、現役幹部の方々を対象に、経営に役立つ知識の習得と、経営者同士のネットワーク作りを目的としたビジネススクールです。

初回はカーネギー・グローバル・マスター・トレーナーの石原由一朗氏にご登壇いただき、「人を動かす経営」というテーマで、人間関係を築くポイントやエンゲージメントを高める組織

づくりについて講義がありました。講師の石原氏によるグループディスカッションを取り入れた引き込まれるセミナーにより、受講者からも「同じ立場の方の

意見は貴重で大変勉強になりました」、「OUT PUTも意識されており、飽きさせない非常に楽しい講義でした」など好意的なコメントをいただきました。



カーネギー・グローバル・マスター・トレーナー 石原 由一朗 氏の講義の様子



FFG 井崎部長のFFG経営塾開会挨拶



会場となったGROWTH Iのイベントスペース

講義後の懇親会では、講師の石原氏をはじめ、FFG五島社長や各取引店長、担当行員も参加し、異業種交流で親睦を深めました。

五島社長からは「各分野一流の講師の先生がお見えになりますので、内容をしっかりと身につけていただき、一緒に学ぶ皆さま方のネットワークづくりに役立てていただきたいと思います」と受講者を激励しました。

本塾は最終回の11月8日(金)まで、「人材マネジメント」、「リーダーシップ」、「コンプライアンス」、「事業開発」、「組織マネジメント」について学んでいただきます。

FFGは今後も「あなたのために、ちばんに。」のスローガンのもと、九州の将来を担う地元経営者のために有益な情報、サービスの提供に努めてまいります。

FFG経営塾は、若手経営者や後継者、経営幹部の方々を対象に企業経営者に求められる幅広い知識の修得と、ネットワークづくりを狙いとしたビジネススクールです。

2024年度FFG経営塾開催概要						
日程	2024年 7月25日(木)	2024年 8月9日(金)	2024年 8月29日(木)	2024年 9月19日(木)	2024年 10月3日(木)	2024年 11月8日(金)
テーマ	「人を動かす」 経営	人材 マネジメント	リーダーシップ	コンプライアンス	事業開発	組織マネジメント
講師	CNGWAY パートナー カーネギー・グローバル マスター・トレーナー 石原 由一朗氏	アサヒグループ ホールディングス株式会社 社外取締役 佐藤 千佳氏	日本生産性本部 主席経営コンサルタント 中間 弘和氏	長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士 深水 大輔氏	九州大学 経済学研究院 (ビジネススクール/QBS) 教授 九州大学ロバート・フアン・ アントレプレナー(QREC) センター長 高田 仁氏	オフィスPDCA 代表 産業カウンセラー・ キャリアコンサルタント 蒲田 善行氏



懇親会の様子



十八親和銀行 白井部長の懇親会閉会挨拶



福岡銀行 秋山部長の乾杯挨拶



FFG 五島社長の懇親会閉会挨拶

FFG 経営者クラブ

年会費 26,000円

FFG Keieisya Club

経営課題の解決と人材育成を強かにサポートし、
お客様とともに走り続けます



社員教育を充実させたいけど自社には研修制度がない



スキマ時間を有効活用して社員のレベルをUPさせたい



経営に関するあらゆる情報を逃さずキャッチしたい

お気軽にお問い合わせください！

お申込み
お問い合わせ先

TEL 092-723-2241

受付時間 9:00~17:00 (但し、銀行休業日は除く)

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1

2024年度 新入社員フォローアップ研修会

本研修会では、新入社員の方々を対象に、慣れはじめた日々の仕事の中で入社後を振り返り、現状を見直し、仕事に取り組む上での基本姿勢やビジネスマナーなどを再確認していただきます。研修は、他業種の方々とコミュニケーションを図りながらグループワークを中心に進めます。即戦力として役立つビジネススキルの修得と仕事に対する意欲の向上を図り、ブラッシュアップを目指します。

研修内容

- 入社後、数ヶ月を振り返って
- 会社(組織)で働くことの再確認
- 仕事のプロになるための姿勢・意識
- ビジネスマナー実習
- 明日からの行動についてのプログラム決意表明やキャリアデザイン

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		Zoom		長崎	Zoom	
8	9	10	11	12	13	14
		Zoom	Zoom	佐世保	福岡	
15	16	17	18	19	20	21
				長崎	北九州	
22	23	24	25	26	27	28
			熊本	福岡	福岡	
29	30					
	久留米					

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		Zoom		Zoom		
6	7	8	9	10	11	12
		福岡		長崎	福岡	
13	14	15	16	17	18	19
				熊本	福岡	
20	21	22	23	24	25	26
			佐世保	福岡		
27	28	29	30	31		
	北九州	久留米				

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					福岡	
3	4	5	6	7	8	9
			熊本			
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※会場参加の場合は6時間コース、オンライン参加の場合は4時間コースとなります。セミナーは、概ね同じ内容となりますが演習(体験学習)の内容が若干異なります。

会場参加	福岡会場	福岡銀行本店 4階セミナールーム 福岡市中央区天神2-13-1	長崎会場	出島メッセ長崎 会議室108 長崎市尾上町4-1
	北九州会場	福岡銀行小倉支店 5階セミナールーム 北九州市小倉北区船場町2-1	佐世保会場	FFG佐世保本店ビル 4階セミナールーム 佐世保市三浦町1-26
	久留米会場	久留米シティプラザ 中会議室 久留米市六ツ門町8-1	熊本会場	熊本城ホール 会議室A2 熊本市中央区桜町3-40
オンライン参加	Zoom	各日程毎にURLが異なりますので、電子メールにてご案内差し上げます。		

時間 会場／10:00～17:00 (6時間) オンライン／13:00～17:00 (4時間)

定員 会場／各日程50名 オンライン／各日程50名

対象者 2024年度の新規・中途採用者

受講料 FFG経営者クラブ会員／1企業5人まで **無料**
6人目よりお1人様6,600円(税込)
会員以外／お1人様13,200円(税込) ※請求書は後日送付いたします。

主催 福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・FFG経営者クラブ・FFGビジネスコンサルティング

お申し込みはこちら



講師

一般社団法人日本経営協会講師 野村Office主宰 **野村 ひとみ氏**

【プロフィール】 国立教育研究所の所轄機関の研究員、また大手電気メーカー、航空会社、商社、テレビ局、サービス業等の実務を経て、人材の育成研修及び教育コンサルティング業務を中心とした野村Officeを設立。人材教育のプロとして、年間約200件の研修・講演会の講師として日本各地で指導する。現在は、中国における人材育成にも参画し、グローバルに活躍中。また、全国ビジネス実務学会正会員、日本マネジメント学会正会員、日本交流分析協会会員及び研究員、大学非常勤講師、自治戦略・公共サービス改革委員、公益財団法人太宰府市国際交流協会副理事長として活躍中。

申込締切：各開催日の5営業日前の17:00まで

欠席される場合は開催日の3営業日前までにご連絡ください。

お問合せ先

〈申込・変更・取消などに関するお問合せ〉

一般社団法人 日本経営協会 TEL 092-431-3365

受付時間 9:15～17:00(但し、土日祝日は除く)

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局 TEL 092-723-2241

〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1
受付時間 9:00～17:00(但し、銀行休業日は除く)



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。
今回、バンコク駐在員事務所の山本所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

今回はインドに進出している
企業を紹介します。
現地の状況について
教えて下さい

① インドは2023年に人口が世界1位となり、更に2028年にはGDPが世界3位となる見通しですが、現地に進出している日系企業数は2023年時点で1,400社と、タイ(5,856社)やベトナム(2,394社)と比較すると決して多くはありません。これは、州毎に異なる複雑な法制度や現地企業との激しい価格競争といった目に見えるものだけでなく、多言語・多宗教という国家の構造に起因した会社運営におけるマネジメントの難しさも背景にあると言われています。一方で、インド経済の拡大に伴う中間所得層の増加とともに、価格最優先ではなく安全性の高さや健康志向といった付加価値を重視する市場が拡大しつつあり、製品やサービスの品質に強みを持つ日系企業にとっては、進出の

※1 インド共和国概要

主要項目		参考
人口	14.4億人	2023年に中国を抜いて世界1位に
面積	328.7万km ²	日本の約9倍
名目GDP	3.6兆ドル	世界5位(2023年推計)
言語の数	22言語	公用語のヒンディー語の他、21言語
日系企業数	1,400社	タイ5,856社、ベトナム2,394社

(出所: 国際通貨基金、国際連合、外務省HPより作成)

検討余地が増えてきています。
(※1)

Question 2

現地企業の声を
聞かせて下さい

(第一交通産業インディア 鈴木社長)

① インド南部のベンガルールにて企業向けハイヤーサービス等を運営する「第一交通インディア」の鈴木社長にお話を伺いました。(※2※3)

弊社は第一交通産業グループの海外事業として2017年に設立されました。進出の背景にあるのが当地での交通事故数の多さです。弊社では今後モデリバイの品質向上や安全性の追求によってインドの課題解決に貢献していきたいと考えています。

弊社がこれまで大事にしてきたことは「インドを知る」ということです。例えば、社長自らが率先してゴミを拾うといった行動は、歴史的に縦社会の文化が残るインドにおいては好意的には受け止められません。また、言語や宗教の違いがあるため社内での業務連絡や意思の統一には配

※2 DAIICHIKOUTSU INDIA PVT LTD

項目	内容
本社	4th Floor, Mittal Tower, MG Road, Bengaluru
事業内容	企業向けハイヤーサービス・ドライバー派遣・自動車整備
設立	2017年7月
社員数	250名(うち日本人3名・ドライバー210名)
車両台数	106台(2017年の設立当初は5台)

(社員数・車両台数は2024年6月末時点)

※3 ドライバーの写真



慮の必要があり、弊社ではチーム単位での業務運営や全社員参加型のイベントを実施することにより、社員間の垣根を取り除きコミュニケーションが活性化するように取り組んでいます。これらの取り組みに加えて、ドライバー採用時にはしっかりと

した安全講習を実施し、お客さまから選ばれる質の高いサービスを提供するよう努めています。インドで事業を軌道に乗せるには相応の時間が必要ですが、まずはインドへお越しになり発展の進むインドを肌で感じて頂くことをお勧めします。

Question 3

海外ビジネスを目指すお客さまへメッセージを願います

A 多くの日系企業が集積するASEAN諸国と違い、インドへの日系企業進出は他国ほど進んでいるとは言えません。一方で、JETRO「2023年日本企業の海外事業展開に関するアンケート調査」によれば市場規模・成長性を魅力として事業拡大を目指す企業の割合はインドが最も高く、新たな事業展開の候補地としてFFGで受けるインド関連の相談も増えてきています。FFGでは市場調査や販路開拓等の様々なニーズに対して、現地ネットワーク先の紹介、展示会のご案内、業務提携先のJICA九州との連携等、ご相談内容に応じて国内・現地の両面からサポートいたします。



現地のおすすりめや
過ごし方を
ご紹介下さい

バンコクには多くのインド人が居住しており、「リトルインド」と呼ばれるインド人街も存在します。ランドマークでもある「インディアエンポリウム」では、スパイスが効いた本格的なチャイやサリー等の民族衣装が販売されています。タイにも様々な色使いの洋服や雑貨がありますが、インドのものは原色を多用し、金色を織り交ぜた煌びやかなデザインが目を引きます。街自体はそこまで大きくはありませんが、バンコクにいながらインドを体感することができます(※4)

※4 インド人街のランドマーク「インディアエンポリウム」





FFGグループ内で活躍する実業団や
社会人チーム、部活動、個人スポーツ
活動を紹介するコーナーです



三船 梨紗

「バトントワラー」

福岡中央銀行 桧原支店に勤務する銀行員であり、バトントワーリングの強豪チーム「ゴールデンハーツバトンチーム」に所属する三船梨紗さん。2度の世界大会出場、銀行員生活とバトンの両立、バトントワーリングへの思いなどをインタビューした。

強豪バトンチームに所属 福岡中央銀行の銀行員

くるくると回転しながら宙を舞うバトンをしなやかな動きでキャッチする「バトントワーリング」。両端に重りがついた鉄の棒（バトン）を回転させる（トワーリング）ことからその名が付いた。音楽に合わせてバトンを回転させたり、空中に投げたり、スピーディーな操作にバレエや体操の要素を組み入れた芸術性の高いスポーツだ。

福岡中央銀行 桧原支店に勤務する三船梨紗さんは、銀行員でありながら福岡市を拠点に活動するバトントワーリングの強豪チーム「ゴールデンハーツバトンチーム」のメンバーでもある。

「私がバトントワーリングを始めたのは5歳の頃です。小学校の体育館でバトン教室をやっていて、姉と一緒に



三船さん所属の「ゴールデンハーツバトンチーム」が2023年8月、イギリスで行われた世界大会に出場した際の様子 1.表彰式でポーズを決めるチームメンバー（2列目左から2人目が三船さん）／2.世界大会を終え、空港で撮影／3.開催国のイギリス・リバプールで記念撮影



撮影のために何度も側宙してくれた三船さん。小さい頃からやっているので恐怖は感じないとか。ちなみに競技では、バトンを高く投げて側宙してキャッチなど、高度な技が入る

体験したのが始まりでした。姉がやりたいと言ったので、姉妹で習うことになりました」

5歳からずっとバトン一筋。練習を重ねて難しい技ができるようになったときの喜びは大人になった今でも鮮明に覚えているという。

初めての世界大会は高校2年生の時。8月にフランスで行われた「第10回WBTFインターナショナルカップ」にチームで初出場し、アーティスティックグループ部門で1位に輝いた。「世界大会では、海外のお客さんの会場いっぱい響く温かい拍手と大声援



「ゴールデンハーツバトンチーム」の代表・安武 寛子先生と一緒に

に感動しました。日本国内の大会だと、自分のチームの人が出てくるときや、有名選手の時だけ拍手がおこるのですが、海外はどんな選手やチームでも拍手で迎えてくれる。拍手と声援に包まれた会場で演技をするのがとても楽しかったです」



ケガ防止やパフォーマンス向上のために欠かせないストレッチ

銀行員として迎えた 2度目の世界大会

順風満帆な競技人生のように思えた。しかし、高校2年生で世界大会を終えた後、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、大会の延期



取材日に練習に来ていたメンバーと記念写真

や中止が相次いだ。コロナ禍のなかで高校を卒業し、地元の短期大学へ進学。短大生の時に開催されるはずの世界大会が延期になり、社会人1年目の開催にずれ込んだ。

「短大生になって世界大会に出たらチームを卒業しようと思っていたが、コロナ禍で考え方が変わり、社会人になってもバトンを続ける決心をしました」

福岡中央銀行に入行後は、松原支店に配属。「8月に世界大会出場を控えていたので、社会人1年目がとにかく大変でした」と当時を振り返る。

「社会人になると練習時間が必然的に短くなります。出勤するときもバトンを持参して、仕事が終わったら公共交通機関で練習場に直行する生活でした。練習場所は大野城市や太宰府市など毎日変わるのですが、家族に車で送ってもらったこともあります」

過酷な練習と初めての仕事を両立しながら、8月、イギリスで行われた「2023年IBTF世界バトントンワーリング選手権大会」に出場。世界15カ国より17チームが出場したアーティスティックグループ部門で見事

1位、個人戦のトゥーバトン（2本のバトンを用いて技術を競う種目）シニア部門では出場者30人中7位という好成績を残した。

**家族のようなチームの絆
バトン1本の重みを実感**

三船さんが所属する「ゴールデンハーツバトンチーム」には約80人が在籍する。

「みんな小さい頃から一緒なので家族のような連帯感があります。団体戦出場のメンバーには、自分よりも



RISA MIFUNE

2003年2月1日生まれ、21歳。福岡市出身・在住。5歳の頃からバトンを始める。「ゴールデンハーツバトンチーム」に所属し、世界大会でチーム2連覇達成。2023年4月、福岡中央銀行入行。松原支店に配属され、窓口業務、融資事務を担当。現在、銀行員2年目。



福岡中央銀行 桜原支店の皆さん。前列左端から鈴木支店長(前)、三船さん



上の人がいれば、下の子もいます。メンバー内では、年齢に関係なく、言いたいことがあったらため込まず、みんなとことん話しあうようにしていました。時には喧嘩や言い合いになることもありましたが、お互いを理解し合うことは、チームにとって大事なことです」

社会人になった今では、中高生を教える機会も増えているという。

「小さい子に教えることもありま
す。恥ずかしがり屋な子、たくさん
練習する子、それぞれ個性があって
楽しいです」

大人になるにつれ大会に対する心
構えも変化してきた。

「中学生くらいまでは個人戦の方が
緊張して、チーム戦は全く緊張しま
せんでした。高校生になつてくると
『バトン一本の重み』を実感するよう
になり、団体戦の方が緊張するよう
になりました。チームでは、一人がミ
スしたら全員に迷惑をかけてしま
います。例えば、ドロップ(バトンを落
とすこと)があつたら減点になりま
す。バトンを一本落とすだけで、そ
こから全体のリズムが崩れてしまつて

最下位になることもあります。個人
戦も緊張はするのですが、結果の良
し悪しが自分にしか係つてこないか
ら気持ちは楽です」

仕事を頑張りながら バトンも楽しく続けたい

現在、三船さんは銀行員2年目
で、融資事務を担当している。

「バトンについては、世界大会に2回
出場して一区切りついたので、今まで
週5回していた練習を、週2、3回に
減らしています」

個人戦は今年の3月まで出場し、
1月開催の「第49回全日本バトント
ワーリング選手権 九州大会」では
トウバトン1位、ソロトワール(1本
のバトンで技術を競う種目)2位に
輝いた。

「私が出場したU-22は社会人が多
く出場人数こそ少ないですが、社会
人になつても続けているのは全日本
に何度も出場するような人たちは
かりでみんな強いです」

世界大会を経験したことで、バト
ンに対する思いも変化してきた。

「今までは大会で優勝することを目
標にしましたが、これからは地域
のイベントやバトンの演技披露会など
で、たくさんの方にバトントワール
の面白さを伝えていきたいです」
三船さんはこれからも仕事とバト
ンの両輪を回し続ける。



福岡中央銀行 桜原支店

■住所
福岡市南区桜原1丁目33-31

バトントワーリングに
少しでも興味を持って
いただけると嬉しいです!



RISA MIFUNE PLAYER FILE

Q 1 好きな食べ物は?

お肉(焼肉、焼き鳥!)。甘いもの(チョコレート、ケーキ)

Q 2 苦手な食べ物は?

魚。お寿司や刺身が食べられません

Q 3 好きな音楽は?

何でも聴きます。J-POPが多いかな

Q 4 お休みの日の過ごし方は?

本を読むのが好きです。ハラハラドキドキするのが好きでミステリーをよく読みます。好きな作家は東野圭吾さん

Q 5 好きな映画は?

ハリポッター。小学校の頃に大好きで、本も読んでいます。今でもたまに観たくなります

Q 6 好きな色は?

緑、ピンク、白、グレー……あ、多いです(笑)

Q 7 ストレス解消法は?

バトン練習終わりにメンバーとおしゃべりをするのも楽しいです

Q 8 長所、短所は?

チームの中では明るい、元気がいいと言われます。短所は考えすぎるところです

Q 9 バトン以外で得意なスポーツは?

バトラーあるあるなのですが、バトン以外のスポーツは全くダメで…。特に球技が苦手です…

Q 10 バトンで好きな技は?

投げて技をするのも好きですが、ロールと呼ばれる体の周りをグルグル回す技も好きです

過去の戦歴

■チーム成績

- 2023年 IBTF世界バトントワーリング選手権大会
アーティスティックグループ部門1位
- 2023年 第50回バトントワーリング全国大会
オープン部門2位
- JAPANCUP 2020年
シニアバトントワーリング部門2位
- 2019年 第10回WBTFインターナショナルカップ
アーティスティックグループ部門1位

■個人成績

- 2023年 第49回全日本バトントワーリング選手権
九州大会トゥーバトン1位
- 2023年 全日本バトントワーリング選手権大会
トゥーバトン4位

■チーム表彰

- 令和5年度 福岡市市民スポーツ賞受賞



「第13回ふくおかフィナンシャルグループラグビーフェスタ」を開催しました!



FFG
BlueGroupers

参加チーム | 福岡県：草ヶ江ヤングラガーズ・城南スポーツラグビークラブ・伊都ヤングラガーズ・つくしヤングラガーズ・ヤングベアーズラグビースクール / 長崎県：長与ヤングラガーズ

子どもたちに
ラグビーの楽しさを
伝えたい!

ふくおかフィナンシャル

グループの公式ラグビー部

「FFGブルーグループパー
ズ」は、地域の社会貢献活
動として、6月30日(日)に

「第13回ふくおかフィナン
シャルグループラグビー
フェスタ」を開催。福岡・長

崎から招待した小学4年
生チームの子どもたち約

200名に、ラグビー教室
や交流試合、綱引き、リ

レーなど、多彩なプログラ
ムを通してラグビーの楽

しさを伝えました。

今年も活躍!
綱引き審判員りんけんさん



綱引き大会



リレー



ラグビー教室(パス)



ラグビー教室(タックル)



開会式



2024年度 トップキュウシュウリーグ 開幕

全会場
入場無料

2024年度 トップキュウシュウリーグ スケジュール

[FFGブルーグループーズ]の
情報はこちらでチェック!

10.13(日)

vs 三菱重工長崎
14:00キックオフ

11.3(日)

vs 西日本シティ銀行
11:00キックオフ

11.10(日)

vs 安川電機
13:00キックオフ

場所: FFG古賀グラウンド(福岡県古賀市花見東2-24-1)



※予定は変更・中止になる場合もございます。
※リーグ戦3試合の結果を踏まえて、決勝トーナメント(11月下旬~12月上旬)が2試合行われます。

応援よろしくお祈いします!



FFG行員が紹介する

プロジェクト参加のすゝめ

「こども食堂」を応援しよう！ ～福岡県こども食堂応援プロジェクト 2024～

福岡県が取り組んでいる「福岡県こども食堂応援プロジェクト」についてご紹介いたします。

紹介行員 福岡銀行 地域共創部 山下 祐紀

NPPOや地域のボランティアがこどもたちに無料または少額で食事を提供する「こども食堂」は、貧困対策にとどまらず、学年を超えた学びの場や幅広い世代の地域交流の場など、無限の可能性を持ったこどもたちの未来につながる大切な居場所です。県内には、2023年11月時点で342か所の「こども食堂」があり、2018年の90か所から約4倍に増加しています。

この「こども食堂」の活動は、「こどもたちの笑顔が見たい」という想いに共感する方々からの温かい寄附で成り立っています。が、食材や運営費の確保などに苦慮しています。

福岡県では、こどもたちを笑顔にしたいという方々の温かい気持ちや、昨年度から「福岡県こども食堂応援プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトでは、ふるさと納税による寄附金を募集し、福岡県が誇るおいしい県産食材

をこども食堂に届けます。

昨年度は18,074,600円の寄附が寄せられ、県内227か所のこども食堂に福岡県産米「金のめし丸元気づくし」や「はかた地どり」、地域の新鮮な野菜や果物を購入できる商品券が届けられました。こどもたちからは、「おなかいっぱいになりました」「また来たいです」といった喜びの声が届きました。また、「こども食堂」を運営する方々からは、「こどもたちがおいしそうに食べる姿を見て、こども食堂を続けてきてよかったです」といった声が寄せられました。

今年度の募集期間は2024年12月27日(金)までです。こども食堂を応援する支援の輪を大きく広げ、こどもたちのたくさんの笑顔があふれる福岡県にしたいため、多くの皆さまにプロジェクトにご賛同いただきますよう、よろしくお願いたします。

「福岡県こども食堂応援プロジェクト」寄附方法と税金の控除

県内本社企業の方(県へ直接寄附)

寄附の方法: 福岡県総務部税務課企画係に連絡後日、寄附の申込書をご提出いただけます。

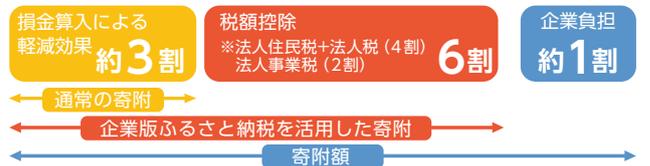
税金の控除: 寄附額全額が損金に算入されることにより、約3割の軽減効果があり、企業の実質的な負担は約7割となります。



県外本社企業の方(企業版ふるさと納税)

寄附の方法: 福岡県総務部税務課企画係に連絡後日、寄附の申込書をご提出いただけます。

税金の控除: 通常の損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、企業の実質的な負担は約1割となります。



○1回あたり10万円以上の寄附が制度の対象となります。
○寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。

こどもたちの笑顔が見たい！

皆さんの思いを温かい食事にして届けます。

福岡県こども食堂 応援プロジェクト2024



【①クラウドファンディング型ふるさと納税】[②企業版ふるさと納税]の同時募集

募集期間：①2024年8月11日(日)募集終了

※2024年8月12日(月・祝)以降も福岡県総務部税務課に
お申込みいただければ寄附は可能です。

②2024年5月14日(火)から2024年12月27日(金)

①+②目標合計金額

800万円

皆さまの温かいご支援をお願いします。

皆さまからいただいた寄附金は、福岡県が誇るおいしい県産食材をこども食堂に届け、こどもたちにおなかいっぱい食べてもらうために活用させていただきます。

今回の寄附への返礼品はございませんが、皆さまの思いで笑顔になったこどもたちの様子を報告書としてお送りします。

※目標金額に達しなかった場合も、集まった金額でこども食堂を支援いたします。

詳しくはこちら



【お問い合わせ先】

【税制措置及び寄附の募集に関すること】
福岡県総務部税務課 企画係
TEL：092-643-3063
Mail：zeimu@pref.fukuoka.lg.jp

【プロジェクト及びこども食堂に関すること】
福岡県福祉労働部こども未来課 居場所づくり係
TEL：092-643-3577
Mail：komirai-ibasyo@pref.fukuoka.lg.jp

持続可能な社会の実現に向けた取り組み

— 京都企業との「中小企業のためのサステナビリティ経営実践セミナー」の開催 —

今回は京都フィナンシャルグループの持続可能な社会の実現に向けた地域企業と連携した取り組みをご紹介します。

京都銀行

開催済

京都フィナンシャルグループ

中小企業のためのサステナビリティ経営実践セミナー

～2030年を見据えた視点から～

【開催日時】
2024年
3月26日(火)
14:00～16:30

参加費無料
※事前申込み

【開催方法】
会場参加もしくはWEB参加をご選択いただけます。
(会場:先着70名様、WEB:先着150名様)

- 会場:京都経済センター 6階(6-C)
京都市下京区四条通室町東入函谷餅町78番地
- WEB:ZOOMウェビナー

ローム・SCREENホールディングス・島津製作所の事例紹介を通じて、京都フィナンシャルグループから中小企業の皆様へ、「これからのサステナビリティ活動」についてお伝えします。

— 講演内容 —

バリューチェーンで取り組むサステナビリティ経営 ローム株式会社	PFAS(有機フッ素化合物)規制の動向～永遠の化学物質の利点と課題～ 株式会社SCREENホールディングス	サステナブルな調達に向けて～パートナーと共に取り組む社会課題解決～ 株式会社島津製作所	京都フィナンシャルグループが提供するサステナブル関連サービスについて 株式会社 京都総研コンサルティング	サステナビリティ経営～2030年を見据えた視点から～4社によるパネルディスカッション質疑応答
------------------------------------	--	--	---	--

【申込方法】 下記URLもしくは右記申込フォームよりお申込みください。
<https://forms.office.com/r/tjHCK1NWV3>
※WEB参加をご希望の方には、別途Zoom会議のご案内をさせていただきます。
※定員になり次第、期限前でもお申し込みを締め切らせていただきます。

【お申込締切日】
3/19(火)

主催/株式会社 京都フィナンシャルグループ
協力/ローム株式会社 株式会社SCREENホールディングス 株式会社島津製作所 株式会社 京都総研コンサルティング
事務局/京都フィナンシャルグループ サステナビリティ経営統括部(佐藤、猪熊、平井)
TEL:075-361-2292

会場:京都経済センター6階(6-C) 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出ですぐ/阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結/京都市営バス「四条烏丸」徒歩すぐ

▲セミナーチラシ

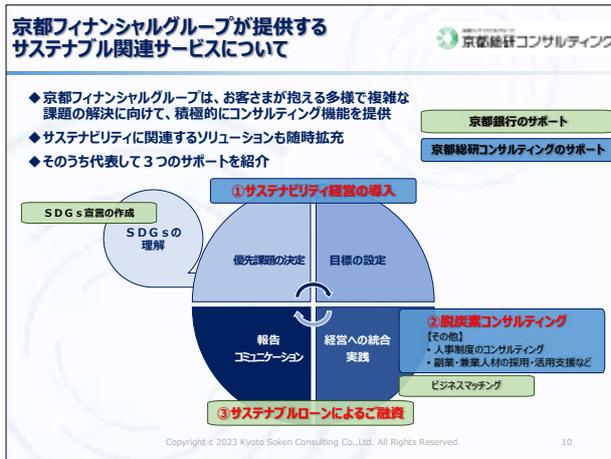
— 京都企業との連携の実績

京都フィナンシャルグループでは、持続可能な社会の実現に向けて京都の上場企業2社と包括連携協定を締結しています。

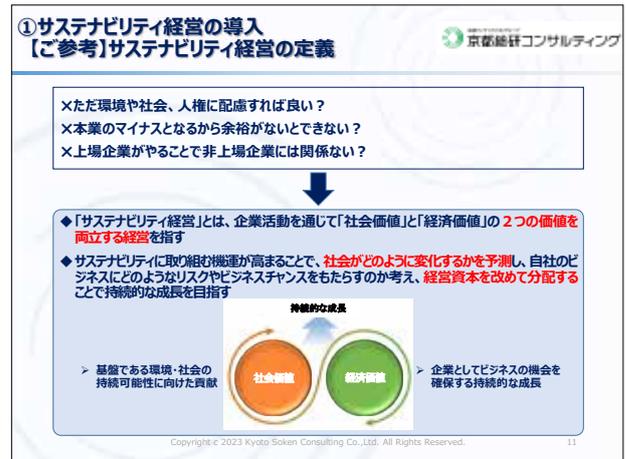
【2021年12月】

株式会社島津製作所との協定締結

両社が積み重ねてきた協力関係をさらに強化・発展させるとともに、SDGsがターゲットとする2030年のさらなる先を見据えた継続的な連携により、両社の経営資源を有効に活用し、事業活動を通じて地域の持続的な成長・活性化や環境負荷軽減などのSDGs達成を含む持続可能な社会の実現に貢献を図ることを目的とし



▲弊社の説明資料(一部抜粋)



て協定を結びました。

「2023年11月」
株式会社SCREENホールディングスとの協定締結

持続可能な社会の実現には、環境や人権の問題、それを守るガバナンスの強化に向けた取り組みを、各企業単独でなくサプライチェーン全体へと広げていくことが重要になります。この連携により両社が持つ知見を生かし、社会課題の解決に向けた取り組みをサプライチェーン全体に広げることを目的として協定を結びました。

セミナー取り組みの背景

昨今、環境への対応をはじめとしたサステナビリティ関連の取り組みは、大手企業のみならず中小企業においても経営課題として急速に重要度・優先度が増しています。しかし、サステナビリティ関連の取り組みについてどこから進めるべきかお悩みの声を取引先からいただくことも増えています。このような状況に対し、ROOM株式会社、株式会社SCREENホールディングス、株式会社

島津製作所の事例紹介を通じたセミナーを開催することになりました。

セミナー当日の様子

今回のセミナーでは会場とWebによるライブ配信のハイブリット形式で開催し、およそ120名の参加申込がありました。当日は中小企業のみならず、大企業や自治体関係者、大学関係者等にご参加いただきました。登壇した4社の講演内容は下記の通りとなっております。

1. ROOM株式会社
 「バリューチェーンで取り組むサステナビリティ経営」
2. 株式会社SCREENホールディングス
 「PFAS(有機フッ素化合物)規制の動向、永遠の化学物質の利点と課題」
3. 株式会社島津製作所
 「サステナブルな調達に向けて、パートナーと共に取り組む社会課題解決」
4. 株式会社京都総研コンサルティング
 「京都フィナンシャルグループが提供するサステナブル関連サービスについて」

各社の講演後にはパネルディスカッションや質疑応答を実施しました。

セミナー終了後、①満足度、②わかりやすさ、③今後もこのようなセミナーに参加したいかの3項目について5段階評価でのアンケートを実施しました。

その結果、すべての項目において5段階中4以上の評価が95%以上であり、満足度の高い結果となりました。参加者からは次回開催への要望・期待についての意見も寄せられており、関心度の高さがうかがえました。

まとめ

SDGsやカーボンニュートラルが社会の共通目標として定着しつつある中、地域金融機関の役割は、中小企業を含めた地域企業にSDGsや脱炭素の取り組みを広げていくことであると考えます。そこで重要となるのが、どのようにしてサプライチェーン全体での取り組みとして裾野を広げていくかということです。

弊社では、取引先の「ありたい姿」や「あるべき姿」などを一緒に考え、SDGs・サステナビリティ

ティをキーワードとした経営方針策定をサポートする「サステナビリティ経営サポート」の支援や副業・兼業プロ人材の活用によりSDGsの経営課題を解決する「京銀SDGs実行サポート」、脱炭素に関する現状把握(CO₂排出量の算定)や省エネ診断、中小企業版SBT申請支援等を行う「脱炭素コンサルティング」といったサービスを展開し、地域企業の持続可能な取り組みをサポートさせていただきます。

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する」地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する」との経営理念のもと、地域の社会的課題や環境問題の解決に取り組むことにより長期持続的な企業価値向上に努め、地域社会の持続的発展に貢献していくことをサステナビリティ経営方針として定めております。今回の取り組みのように京都を地元とする企業同士が地域活性化という共通テーマで連携することで、なお一層関係が深まるとともに、異業種間でのパートナーシップによって、双方が新たな事業展開を図ることができると大きな期待を抱いています。

(文責 株式会社京都総研コンサルティング)



▲パネルディスカッション・質疑応答の様子



▲セミナーの様子

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ① 複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ② 他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】**
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)

リニューアルで魅力UP

1 平戸城

【住所】長崎県平戸市岩の上町 1458-1
【電話】0950-22-2201

2019年12月登城時は天守閣工事中で入れず、2021年4月天守閣リニューアルされ、懐柔櫓は宿泊可能に(二人一泊66万円〜)。2023年11月再登城し、アトラクションは子ども連れで楽しめた(写真①)。平戸大橋近くの「お食事の店 萬福」のお刺身定食を堪能(写真②)。

日本百名城 No.90



日本百名城 No.92

復興が進む熊本のシンボル

2 熊本城

【住所】熊本市中央区本丸1-1
【電話】096-223-5011(熊本城運営センター)

2019年12月登城時は復興中で外周散策。「城彩苑」桜の小路で馬刺し定食を食すのみ。2022年7月再登城し、夜のライトアップ(写真③)、「西のサウナの聖地」と呼ばれる「湯らっくす」で整った(写真④)。



絶景と石垣の曲線美

4 今帰仁城

【住所】沖縄県国頭郡今帰仁村字今泊5101

【電話】0980-56-4400

2022年4月登城。「沖縄美ら海水族館(写真⑦)」に近く、家族旅行の合い間に早朝一人で散策。本土の石垣とは異なる曲線美とエメラルドグリーンの海が美しいのだが、あいの曇り空(写真⑧)。首里城が復興するタイミング(2026年予定)で再訪したい。



Vol.1 九州・沖縄編

お城巡り



私がお案内します!



福岡銀行 添田支店 中野 実 支店長

Profile 福岡県北九州市出身。1998年福岡銀行入行。門司支店を皮切りに箱崎、戸畑、総務広報部、宮崎、柳川支店で勤務。2017年バンコク駐在員事務所所長。2018年から大牟田、香椎支店の副支店長を務めたのち、2022年10月から現職。趣味で2019年11月から3年7カ月かけて「日本100名城」「続日本100名城」掲載の200城(城跡含む)を踏破。公益財団法人日本城郭協会から登城認定を受ける。

続日本百名城 No.186



一日がかりで登城!

3 金田城

【住所】長崎県対馬市美津島町 黒瀬城山

2022年2月登城。深夜フェリーで博多港出発、歩けど歩けど登山口にも辿り着かず、人生初めてのヒッチハイクを経験。山頂からの眺望を体感した後は(写真⑤)、タクシー・日帰り温泉で疲れた体を癒し、そして深夜フェリーで博多港到着。これまでの人生で最高歩数を記録(写真⑥)。



※掲載内容は訪問当時のものです。

長崎だより

長崎の情報を
お届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、ブライアン・バークガフニ様より『グラバー園の過去・現在・未来』と題し寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!



当研究所が発信する最新の情報を
メールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶



お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所

長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859



長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。



グラバー園の過去・現在・未来

ブライアン・バークガフニ

「蝶々夫人」の虚偽

昭和20(1945)年9月23日の長崎上陸直後から、連合国の進駐軍は事務所や住宅として利用する建物の接収を開始した。南山手や東山手の旧外国人居留地内に建てられた洋風建築が、欧米人たちにとって理想的な住宅であったことはいうまでもない。その中でも、現在グラバー園に保存されている旧グラバー住宅、旧リンガー住宅および旧オルト住宅は、進駐軍上陸当日から接収対象となった。

旧グラバー住宅の最後の入居者となったのは、ジョセフ・ゴールズビー大佐とその妻バーバラだった。ゴールズビーは、第五上陸作戦部隊の技師として長崎に到着し、後に軍事政府本部商工部長、経済部長を歴任した。昭和22(1947)年夏から妻とともに旧グラバー住宅に居を構えている。

独特な洋風建築と長崎港を一望できることに魅了されたバーバラ夫人は、自分がオペラ『マダム・バタフライ』のヒロイン、蝶々さんの家に住んでいるのだと想像し、旧グラバー住宅に『マダム・バタフライ・ハウス』というニックネームを付けた。グラバー家とオペラ『マダム・バタフライ』には歴史的な関係がないとはいえ、長崎はジャコモ・プッチーニによる有名なオペラの舞台であり、旧グラバー住宅は、オペラの中で悲劇のヒロインが港を見下ろしアメリカ人の恋人の帰りを待ち続ける場面を連想させるのに相応しい場所であるのは確かだ。

はじめは進駐軍の遊びに過ぎなかったが、やがて日本人も「蝶々夫人の家」に着目し、未だ復興ならない被爆地に観光客を誘って経済を立て直すきっかけにしようと考えた。昭和23(1948)年5月、毎日新聞の記者とカメラマンが旧グラバー住宅を訪れ、バーバラ・ゴールズビーに話を聞いた。その後、同新聞の日本語版と英語版の両方に、「お蝶夫人の宅跡発見」と題した記事が掲載された。写真には、同住宅を背景に

Profile



ブライアン・バークガフニ

Brian Burke-Gaffney

略歴

1950年 カナダ中部のウィニペグ市で生まれる
1972年 ヨーロッパ、インド等を経て来日
1973年 臨済宗入門得度、1982年まで京都の妙心寺専門道場等において禅の修行を積む
1982年 長崎市に移り住む
1985年 長崎市嘱託職員に就任
1992年 長崎県民表彰受賞(外国人として初めて)
1996年 長崎総合科学大学・地域科学研究所教授に就任
2001年 同大学人間環境学部環境文化学科教授に就任
2007年 博士号(学術)取得
2009年 長崎総合科学大学環境・建築学部長に就任
2016年 2016年度長崎新聞文化賞受賞
2023年 長崎総合科学大学退職
現在 長崎総合科学大学名誉教授、グラバー園名誉園長

主な著書

『時の流れを越えて・長崎国際墓地に眠る人々』(長崎文献社)1991年
『蝶々夫人を探して』(クリエイツかもがわ)2000年
『華の長崎〜秘蔵絵葉書コレクション』(長崎文献社)2005年
『霧笛の長崎居留地〜ウォーカー兄弟と海運日本の黎明』(長崎新聞社)2006年
『グラバー園への招待』(長崎文献社)2010年
『リンガー家秘録〜1868〜1940』(長崎文献社)2014年
『写真でたどる旧グラバー住宅の歴史』(フライング・クレーン・プレス)2020年
『長崎偉人伝〜T・B・グラバー』(長崎文献社)2020年
『欧米人が歩いた長崎から雲仙への道』(フライング・クレーン・プレス)2023年
など



蝶々夫人をいかにも意識した風に、肩越しに和傘を差してポーズを取る。バーバラ・ゴールズビーの姿がある。しかし、旧グラバー住宅の歴史や元所有者のトーマスグラバーおよびわずか3年前に自らの命を絶ったグラバーの長男、倉場富三郎には言及していない。

この記事と写真の状況については、毎日新聞社発行の回想記録『激動二十年』の中に次のような記述がある。

二十三年五月、長崎市馬町市立博物館に現在長崎国際文化会館内の一室。学芸員の島内八郎と、毎日新聞長崎支局の記者下瀬が対談していた。島内「長崎といえばお蝶夫人、マダム、バタフライといえ

ばナガサキ、原爆とお蝶夫人で長崎は世界に有名デスタイ。ところが長崎には、お蝶夫人をしのぶものも何もナカデスモンナ。そこでお蝶夫人の記念碑を建てようという話

す。さて、建てる場所デスタイ。やっぱり南山手のグラバー邸デスタイ。あそこならお蝶夫人の家のイメージにホンニピッタリ。下瀬は帰局すると、すぐ末吉カメラマンをグラ

バー邸に走らせた。三菱造船所が買収してクラブに使っていた同邸は米軍の長崎進駐とともに接收され、当時は、長崎軍政府ゴールズビー大尉の宿舎になっていた。お蝶夫人の記念碑の話をする、ゴールズビー夫人はその家がお蝶夫人の家と早合点したのか、青い目を輝かせて大喜び、日ガサをさして芝生の庭に降り、マダム・バタフライ気取りのポーズで、こころよくカメラにおさまった³。

同年11月、オペラ『蝶々夫人』が初めて長崎で上演された。長崎市教育委員会などの主催で、長門美保歌劇団によるオペラは二夜連続、三菱会館で披露された。当日に配るために発行されたプログラムの中で、「蝶々夫人宅跡」の最初の提唱者である島

内八郎の「来演の慶び」と題したメッセージが掲載された。その一部を以下に紹介する。

バタフライはフィクションであるか否かについて郷土史家達は大いに論議した。その場所がグラバー邸であるか否かについてはもつとひどく論議した。その最中あればグラバー邸にして置こう、などと云い出したのは実は前長崎裁判所長石田壽先生や私で、感覚的にふさわしいというのが理由なのである。しかし、少ししつろめたいので『お蝶夫人ゆかりの庭』なんてやったが、昨今では(主として)私を罵る声が高いので『お蝶夫人を偲ばせる庭』とでも改名したらと考えている⁴。

島内氏の告白とも感じられるこの証言は、「蝶々夫人の家」説を土台から打ち砕くものだと見える。

しかし、史実を軽視して雰囲気づくりに奔走する傾向がさらに強まった。旧長崎居留地とそこに暮らした

人々についての体系的な調査研究はなされないまま、長崎の新たな観光産業を支えるために「蝶々夫人」が広告やパンフレットなどに広く紹介された。バスガイドさえもアリア⁵ある晴れた日に『を旧グラバー住宅で歌い、客を喜ばせるようになっていた。



旧グラバー住宅の前に立つアメリカ進駐軍関係者。1947(昭和22)年撮影。中央の男性は、この建物の最後の住人となったジョセフ・ゴールズビー大佐である。奥に見える2台のジープは、今まで車の横付けができなかった住宅に、進駐軍によって私道が造られていたことを示す。アメリカで発見されたこの写真の裏面には、「マダム・バタフライ・ハウス」の手書きの表記がある。



長崎随一の観光地に

「蝶々夫人の家」および「蝶々夫人ゆかりの地」のキャッチフレーズが定着すると、多くの観光客が異国情緒あふれる長崎を訪れるようになり、観光が戦災から立ち直る長崎の重要な原動力となっていた。昭和32（1957）年、進駐軍から旧グラバー住宅を取り戻した三菱は、三菱長崎造船所の前身である長崎製鉄所の設立百周年記念として、かねてから譲渡を請願していた長崎市に同住宅を寄贈した。

昭和36（1961）年6月、日本政府は旧グラバー住宅を重要文化財に指定したが、主な趣旨は日本における最初の木造洋風住宅という建築学的価値に対する評価である。長崎市が建造物を大切に保存さえすれば、文化庁はこの邸宅を観光名所として宣伝するために「蝶々夫人」のテーマを使用することを問題視しなかった。その結果、旧長崎居留地の歴史とその住民たちの業績やライフ

ストーリーのほとんどは、「蝶々夫人」の陰に隠れたままであった。さらに、トーマス・グラバーが幕末の志士をかくまったとされる「隠し部屋」やキリンビールのラベルに描かれた麒麟のモチーフとされる石の狛犬など、根拠のない憶測が邸宅の紹介に入り込むようになった。

歴史的街並みの消滅

昭和39（1964）年頃、観光地として注目を集めた旧グラバー住宅は、市営競輪所に次ぐ長崎市の「ドル箱」になっていた⁵。しかし、皮肉にも、同じ時期に旧居留地の多くの洋風建築や石畳、煉瓦塀などの構造物が開発の波に吞まれて消滅し始めた。写真家の小林勝氏が指摘するよう、戦後から昭和30年代までは、旧長崎居留地の洋風建築の解体はほとんど進行していなかったが、この頃を境にして高度経済成長期に入り、居留地に限らず長崎の町全体が激変していくのである。

この観点から、旧グラバー住宅や大浦天主堂の観光開発は、一得一失の事業だったといえる。なぜなら、一部の洋風建築や庭園を保存する一方で、駐車場、近代的ホテルおよび観光施設の突貫工事により、その他の古い建物、石畳、石垣、植栽など、従来の落ち着いた生活環境が破壊され、観光客を魅了するはずの「異国情緒」が薄れる結果となったからである。

南山手の観光地のさらなる発展を図る長崎市は、1965年（昭和40年）に旧リンガー住宅を購入し、その周辺の庭や階段を整備した。旧リンガー住宅は、南山手2番地（旧グラバー住宅の南隣）に位置する明治初年頃の洋風石造り住宅である。同住宅もまたその建築学的価値が認められ、翌年5月に日本政府により重要文化財に指定され、10月に一般公開された。

同じ頃、長崎市は約4500万円をつぎ込んで旧グラバー住宅の大掛かりな修復工事に着手した。工事

中、築年を示す墨書きの他に、建物の度重なる修理と増築の痕跡が見された。昭和43（1968）年3月に工事が終わり、同年4月1日には施設の再スタートを祝う式典が開催された。入場料は、大人が20円から50円、小人が10円から20円と引き上げられたが、観光客は増加の一途をたどった。

修復工事終了後に発行された300ページにも及ぶ『重要文化財旧グラバー住宅修理工事報告書』は、旧グラバー住宅の構造上の特徴に関する詳細な情報を提供する。しかし、建物の来歴と元住人の暮らしに関する記述が少ない。実際、昭和40年代の時点でも、トーマス・グラバーや倉場富三郎の活動を含む旧長崎居留地の歴史と文化に関する調査研究がほとんど進んでいないのが実情だった。

「長崎明治村」構想

日本が高度成長期に入ると、都市



南山手の小高い丘から風光明媚な港を俯瞰してお嬢夫人を徳ぶのも又愉しからずや。 CONNECTION PLACE OF MADAM BUTTERFLY

の開発と道路の拡張が急速に進められ、多くの貴重な歴史的建造物が消えてしまう運命にあった。昭和40(1965)年、愛知県で名古屋鉄道社長の土川元夫らが「明治村」という観光施設をつくり、開発の波に吞まれそうになっていた各地の歴

史的建造物の移築場所として利用した。明治村に移築された建造物の中には東京の帝国ホテルの一部、作家ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の別荘や、旧グラバー住宅のすぐ近くにあった南山手25番館も含まれていた。明治村は日本で初めてのテーマパークとして大きな成功をおさめた。

この成功に触発された長崎市は、数棟の明治時代の建物を旧グラバー住宅と旧リンガー住宅周辺の南山手に移築し、長崎独自のテーマパークを開設する計画を練った。計画の施設は愛知県の明治村にならって、「長崎明治村」と仮に名付けられたが、二つの施設には大きな違いがあった。愛知県の明治村は用地に建物を移築した屋外博物館であるのに対して、長崎の施設は旧長崎居留地の南山手居住区の現地に計画され、3棟の国指定重要文化財は本来の場所に建ったままの状態であった。同計画は昭和45(1970)年から二段階で進められた。旧リン

ガー住宅に隣接する南山手14番地の旧オルト住宅も購入され、さらに元々南山手乙28番地にあった旧ウォーカー住宅を含む6棟の洋風建築が移築された。錦鯉の池、壁面の装飾や歩道が造られ、庭は手入れされた。また当時としては珍しかった、観光客を坂の上まで運ぶための屋外エスカレーターも建設された。大浦天主堂の近くに新しい入場口が造られ、グラバー邸に設置されていたそれ以前の入場口は出口となった。

時期を同じくして、南山手のふもとに大きな近代化的ホテルが建てられ、宿泊施設の不足を解決した。

長崎市は新しい施設の名前を決めるためにアンケートを取り、市民から寄せられた190の案の中から「グラバー園」を選出した。南山手に造成された新しい施設は、昭和49(1974)年9月4日に開園した。

伝統的建造物群

グラバー園の開園をめぐる大きな

注目にもかかわらず、他の洋風建築や由緒ある街並みが次々とその姿を消していった。昭和51(1976)年、この状況が憂慮される中、長崎市が東山手と南山手の現地調査を実施し、さらにその後、文化庁の指導を受け同60(1985)年に建造物・土木工作物・樹木の再調査に着手した。また、その翌々年には「長崎市伝統的建造物群保存地区保存整備懇話会」が設置され、基本計画の検討が始まった。調査の成果は、「長崎居留く伝統的建造物群保存対策調査報告書」(長崎市教育委員会、平成元年)としてまとめられた。

平成元(1989)年8月から、長崎市伝統的建造物群保存地区保存整備のための説明会が自治会や所有者に対してなされ、翌年7月に長崎市伝統的建造物群保存地区保存条例が公布された。そして、平成3(1991)年に「長崎市中東山手・南山手重要伝統的建造物群保存地区」が国により選定される運びとなった。



文化財保護法で言う「伝統的建造物群」とは、「周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群」であるが、市町村が条例等により決定した「伝統的建造物群保存地区」のうち、特に価値が高いものとして文部科学大臣が選定したものを指す。略して「伝建地区」と称することが多い。いうまでもなく、南山手と東山手が「伝建地区」に選ばれたのは、日本の他の旧居留地と比べても、数多くの文化財が点在し、明治時代の居留地の雰囲気が良いに残留しているからである。

グラバー園の今後

平成13(2001)年に出版された内藤初穂による開明的なトーマス・グラバーの伝記⁷⁾をはじめ、長崎外国人居留地の元住民に関する学術的な研究が徐々に進んでいる。グラバー園に旧宅が保存されているリンガー家やウォーカー家についても、推測や伝聞ではなく、一次資料

に基づいた最近の書籍が有益な情報を提供している。また、国指定重要文化財であり、グラバー園のメダマであるにもかかわらず、これまでほとんど無視されてきた旧オルト住宅の歴史に関する書籍も出版された⁸⁾。同時にグラバー園では、鹿児島、佐賀、福岡、韓国・仁川の各機関と協力し、明治期の商工業史および人物像に関する情報や資料を共有している。

平成27(2015)年、旧グラバー住宅は、23の構成施設の一つとして「明治日本の産業革命遺産」製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産に登録された。これは名誉なことだが、誤解を招きかねない。

日本語と英語の正式名称が異なる。だけでなく、旧グラバー住宅だけに注目が集まるからである。同じ南山手の丘陵地に建ち並び、国指定重要文化財のステータスを共有する旧リンガー住宅と旧オルト住宅は、旧グラバー住宅と同等に扱われるべきだと思えてならない。

今後、長崎随一の観光名所、そして地域経済の起爆剤としてだけでなく、旧長崎外国人居留地の歴史や東アジアにおける多彩な国際交流史に関する情報収集・発信の拠点として、グラバー園の役割をさらに高めていく所存である。

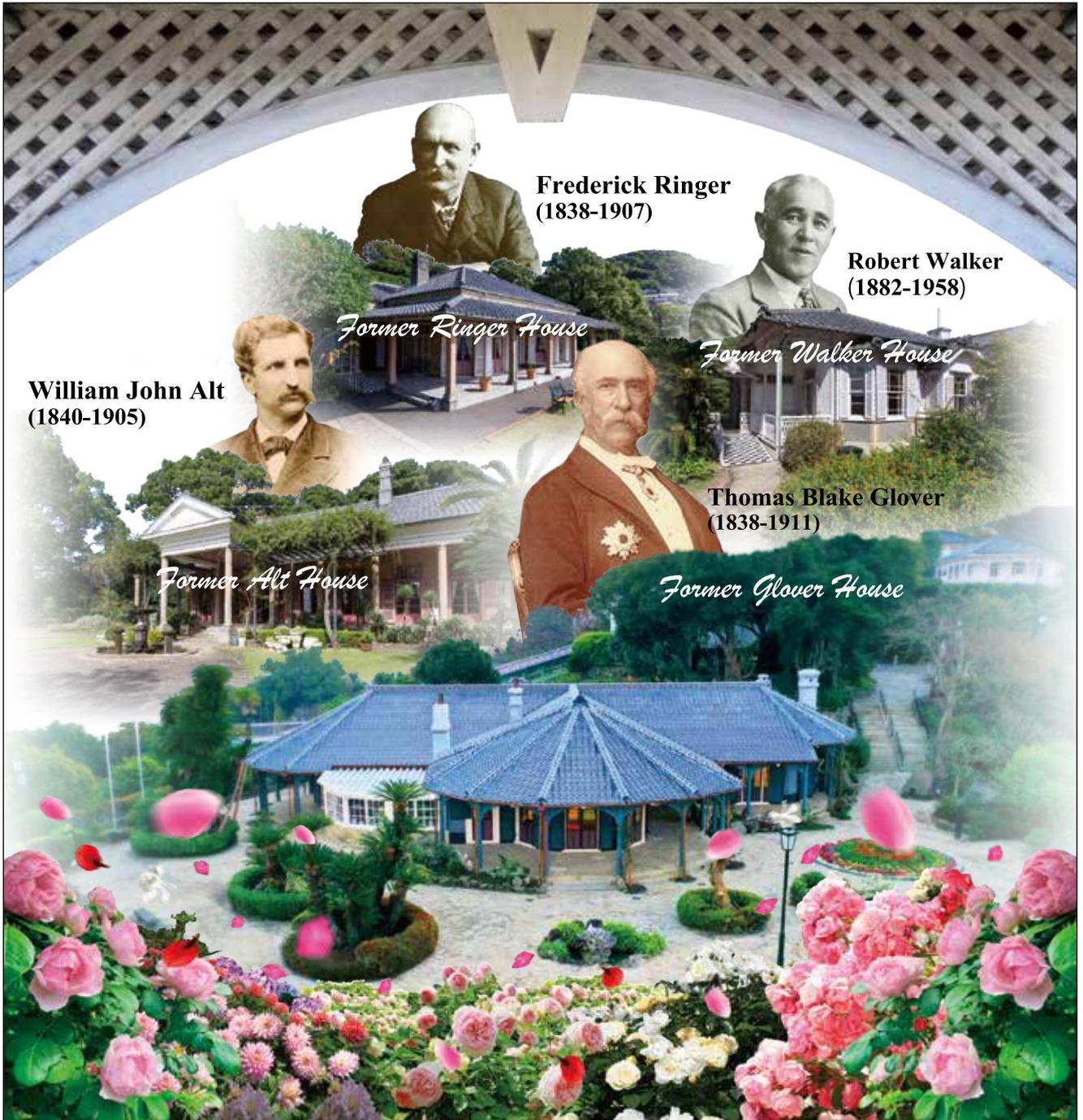


蝶々夫人ゆかりの地

Memorial place of Madam Butterfly

注釈

- 1 ブライアン・パークガフニ著、『蝶々夫人を探して』(クリエイツかもがわ、2000年) 54～70頁
- 2 英語版と日本語版の昭和23(1948)年8月5日号と10日号にそれぞれ掲載された。
- 3 毎日新聞社編、『激動二十年』(1965年)172～3頁
- 4 現物のプログラムより抜粋(筆者蔵)
- 5 『長崎新聞』昭和39年4月23日号
- 6 小林勝著、『長崎の明治洋館』(小林勝発行、1993年)
- 7 内藤初穂著、『明治建国の洋商』トーマス・B・グラバー始末(アテネ書房、2001)
- 8 Brian Burke-Gaffney, The Former Alt House: Biography of a Nagasaki Landmark (Flying Crane Press, 2022)
- 9 世界遺産の正式名称は、日本語では「旧グラバー住宅」だが、英語では「Former Glover House and Office」として使われていたことを示す証拠はない。



グラバー園、開園50周年

1974年の開園以来、多くの皆さまに愛されてきたグラバー園は2024年、開園50周年を迎えます。





旭 達文《おらんだ万才》木版画

長崎くんち画展

2024年9月6日(金)～11月2日(土)

弊ギャラリーでは9月6日(金)から11月2日(土)まで、季節展示室と絵画展示室1に於いて、秋季企画展「長崎くんち画展」を開催いたします。

約400年の歴史を誇る「長崎くんち」は全国的にも広く知られ、その異国情緒あふれる種々の演し物は県内外の画家たちをも魅了して、多数の優れた作品が描き残されてきました。本展では、収蔵品の中から「オランダ万才」と「コッコデシヨ」を主題とした大作2点を含む絵画と版画による6点をご紹介します。また今年は、長崎ゆかりの漫画家・清水崑の没後50年の節目でもある為、その業績をまとめたパネルを作品と共に展示して往時を偲びます。

上記に加えて、陶磁器展示室2に於いて、陶磁器小企画「現代陶工・多様な表現」を10月26日(土)まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

旭 達文(あさひ・たつぶん)：1909～1984。長崎県南高来郡有明町(現、島原市)の勝光寺に生まれる。23歳の年に新潟県出雲崎町の光照寺に入り、後に住職を務めた。1950年当地に訪れていた棟方志功の勧めで板画(版画)を始め、棟方が亡くなるまで師事。俳人、彫刻家、版画家として活躍した。

十八親和アートギャラリー

【開館時間】10:00～16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856
西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

鑑賞
無料

